

天井点検口・床点検口・壁点検口(ラコムハッチ)

点検口

Access Panel



アルミのタクミ。

RIKEN

アルミ一筋、
技のDNAはこれからも変わらない。

私たち理研軽金属工業は、財団法人理化学研究所の静岡工場として、アルミの表面処理技術を活用したアルマイト加工及び、アルマイト漆器の量産を目的に1937年に創業しました。

一貫生産体制を武器に一人ひとりが「アルミのタクミ。」として、
「無いものは作る」精神でベストを尽くしています。

アルミの可能性は無限大です。さらに開発研究を継続し、ラインアップの充実を続けます。

一貫生産体制だからこそ実現できる 高品質・短納期・オーダー対応

アルミとともに歩んできた89年。日本軽金属のグループ会社という強みを生かした材料の安定供給を土台に、押出金型の製作から始まり、押出、表面処理、加工、組立、出荷までお客様の様々な要望にお応えできるよう、日々技術の革新と向上に努めています。

—— アルミ押出材一貫生産ライン ——



徹底したマネジメントで

高品質を実現し、
多種多様な製品群で
建築設計・デザインをサポートします。

営業を通じた

お客様の要望が素早く製品に反映され、

短納期・小ロット生産
特注対応にもお応えする事ができます。

全国9地区

(東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・北関東・静岡・広島・福岡)

最寄りの営業所にご相談ください

各種製品に関するご相談を幅広く受け付けています。
建材の選定から施工に関するサポートまで、業界に特化したノウハウで
課題解決をお手伝いします。
カタログ・サンプルのご送付は無料で承っております。
ぜひお気軽にお問い合わせください。

静岡本社・工場の見学も随時受け付けております。



Products

建材製品一覧



スバンドレル



内外装ルーバー



アルミひさし



エキスパンションジョイントカバー



アルミ笠木



カーテン・ブラインドボックス



点検口

RIKEN 点検口は 建物のメンテナンスを手軽にし、 当たり前の日常を支えます。

天井や床下などの配線や配管を容易にメンテナンスでき、
建物の維持管理に欠かせない点検口は取付場所に合わせて
天井点検口、床点検口、壁点検口をご用意。

シンプルなデザインは、
室内空間の演出を損なうことなくインテリアと調和します。

RIKENの点検口は、
施工性や気密性、意匠性に優れた豊富なラインナップで
お客様のご要望にお応えします。

Contents 目次

天井点検口 12タイプ

目地タイプ — スッキリとしたデザイン —

- 8  RME型〔外・内枠目地〕
- 10  RM型〔外・内枠目地〕
- 12  RSⅢ型〔外枠額縁・内枠目地〕
- 14  RSG型〔外枠額縁・内枠目地〕
- 16 REX型〔大型サイズ専用〕

額縁タイプ — 優れた施工性 —

- 18  RLG型 **NEW**
- 20  RP型
- 21  RA型
- 22  RC型

気密タイプ — チリ・ホコリを通しにくい —

- 24  CKM型〔外・内枠目地〕
- 26  CKGM型〔外枠額縁・内枠目地〕
- 28  CKⅡ型

床点検口 2タイプ

Pタイル・モルタル兼用タイプ

- 30  NF型

フローリングタイプ

- 32 JF型

壁点検口 2タイプ

- 34 **RWKM型** **NEW**
- 36 RW型

- 38 表面仕上げについて
- 39 技術資料
- 40 規格外点検口

 天井点検口（ラコムハッチ（シリーズ名））
一般社団法人 公共建築協会認定 製品

 床点検口
一般社団法人 公共建築協会認定 製品



天井点検口／RC型 仙台市交通局 地下鉄東西線 連坊駅（宮城県）



注意事項とお願い

- 施工は図面に基づき行ってください。
- 屋内専用の点検口です。屋外での使用や、本来の使用目的以外には使用しないでください。
- 天井点検口に重量物を取り付けしないでください。防犯カメラやスピーカー等重量物を取り付けると点検口が脱落し、重大事故につながる場合があります。
- 無理な体勢での施工は、落下等の原因となりますのでお避けください。
- 製品の保管時は、湿気をよばない場所に保管してください。
- 取り扱いの際、素手・素肌等の露出部はケガをする恐れがありますので、素肌はなるべく避けるような服装にしてください。
- 天井点検口にはしごを立て掛けないでください。破損や脱落の原因となります。
- 短時間であっても、その場を離れる時は内枠を閉め、作業後はすぐに内枠を閉じて施錠してください。転倒や落下の原因となります。

メンテナンスについて

アルミニウム建材を汚れや腐食から守り、竣工時の美観を長く保つためには、メンテナンス（清掃など）を定期的に行う必要があります。

アルミニウム建材の表面の汚れが軽いうちに清掃するようにすれば、清掃も簡単で費用も少なくて済みます。しかし長期間清掃しないで放置しておきますと、表面に付着した汚れが腐食へ進行します。こうなると、清掃しただけではきれいにならず、補修の必要が出てくることもあり、費用も多くなります。

〈 清掃方法 〉

- ① 水で濡らしたぞうきんや、やわらかいスポンジで拭いてください。
- ② 中性洗剤を水で薄めて使うと、よりきれいになります。洗剤が残らないよう水拭きしてください。

天井点検口

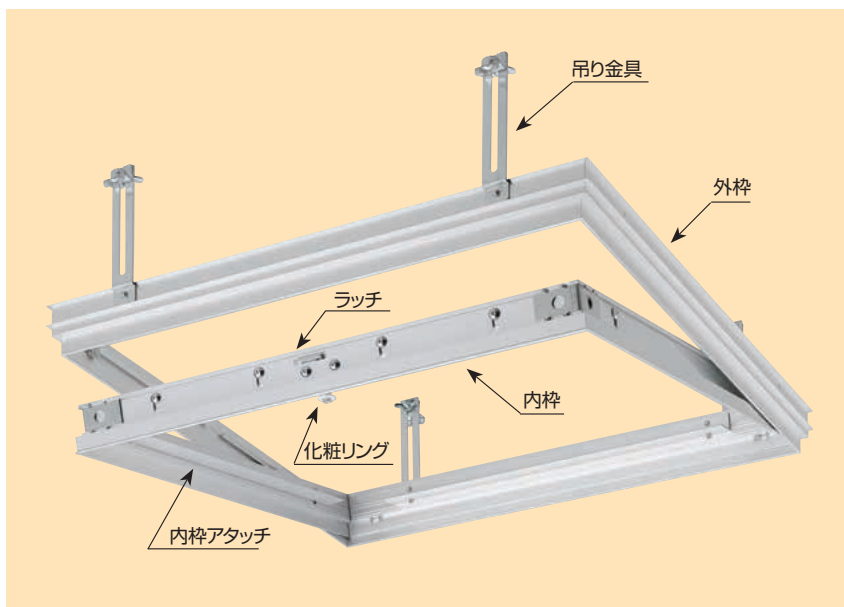
目地タイプ

RME型

- 目地タイプ
- アルミニウム製フレーム
- 内枠天井ボードの位置決めが簡単
- 無駄を省いたシンプルな構造
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK

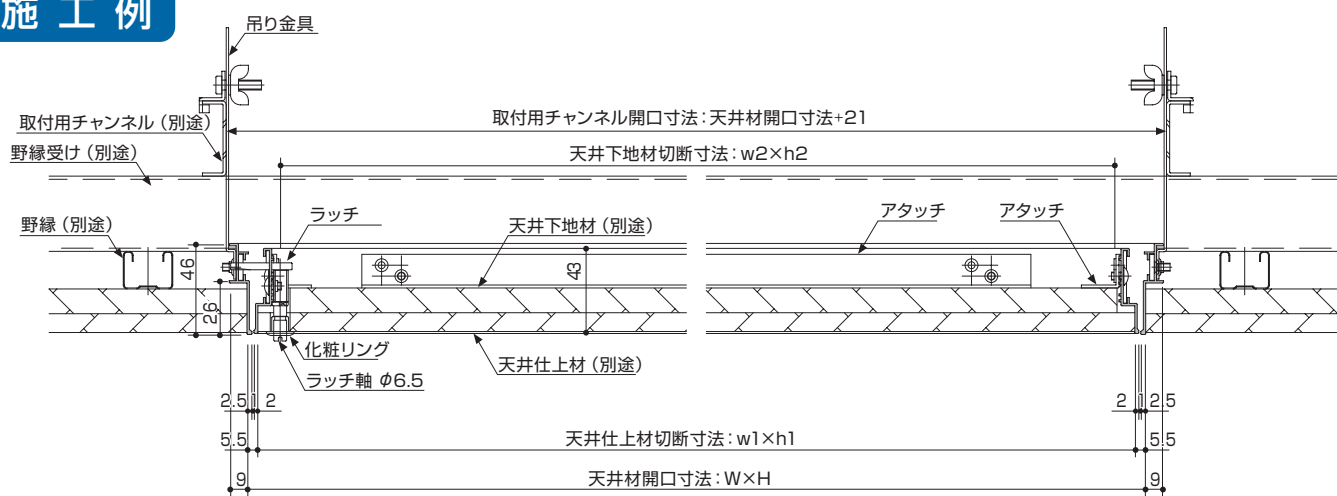
〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホホワイト／焼付塗装



(一社) 公共建築協会 認定品

施工例



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

※適応天井仕上材厚9mm～12.5mm (仕上材+下地材: 9mm～25mm)

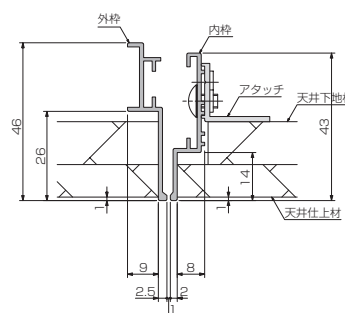
天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。 (天井仕上材と天井下地材の加工寸法が異なります)

呼 称	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H (mm)	仕上材 w1×h1 (mm)	下地材 w2×h2 (mm)	
RME-303	303×303	292×292	274×274	10
RME-454	454×454	443×443	425×425	10
RME-606	606×606	595×595	577×577	5
RME-306	303×606	292×595	274×577	5

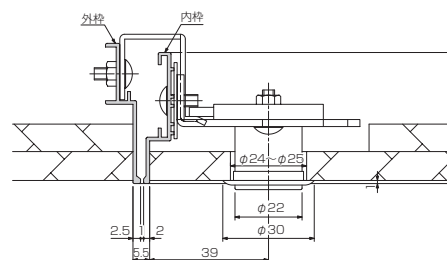
部材仕様表

名 称	材 質
外枠	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
内枠	
内枠アタッチ	
外枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
内枠コーナー金具 ラッチホルダー	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
ラッチ	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
化粧リング	ABS 樹脂
回転軸	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
吊り金具 セット	吊り金具プレート
	取付フック
	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R

枠材詳細図

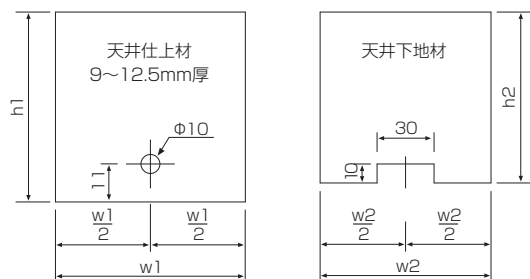


鍵付仕様 (オーダー)

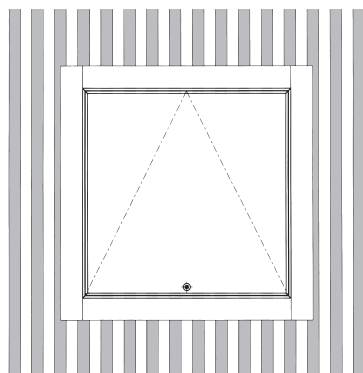


- 屋内専用の点検口です。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格寸法以外及び鍵付点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法 (mm) W×H=200×200～606×606 (片開きのみ)
- ボルトタイプ吊り金具も用意してあります。当社担当にお問い合わせください。

内枠側天井材の加工寸法



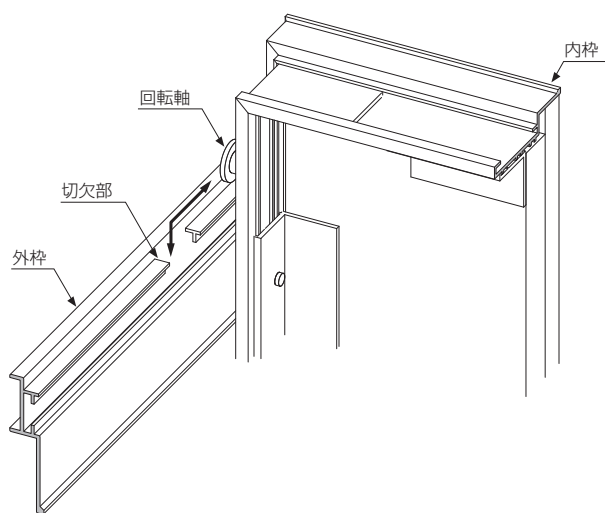
リブ等凹凸が付いた天井材の目地タイプ天井点検口施工例



※開閉のとき、天井仕上材の表面が傷付きやすいので点検口の周辺及び内枠側へのリブ等凹凸が付いた天井材の使用は避けてください。

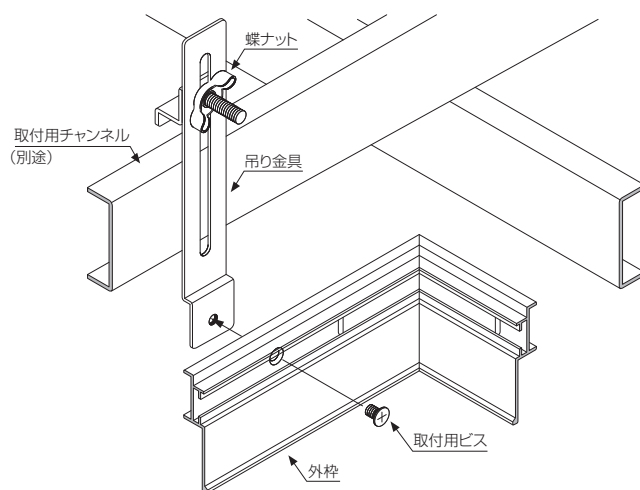
取付方法

1 内枠の脱着方法



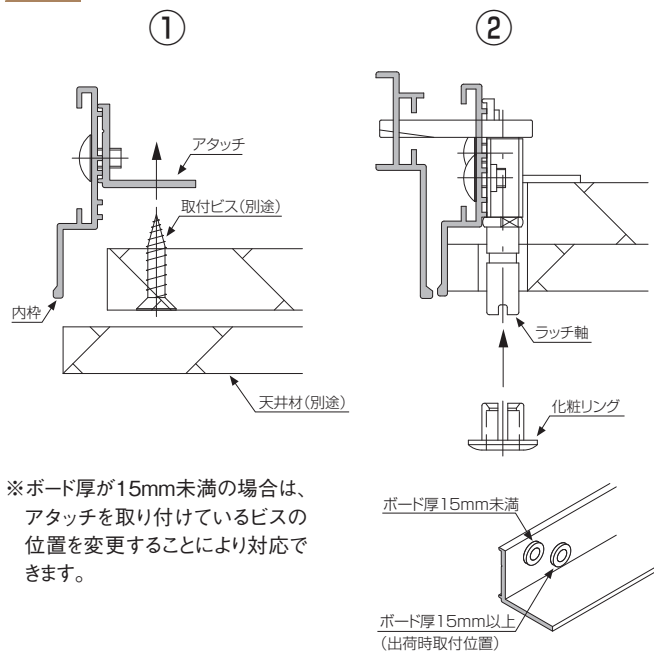
内枠は、回転軸を外枠中央の切り欠き部に合わせることで脱着できます。

2 外枠の取付方法



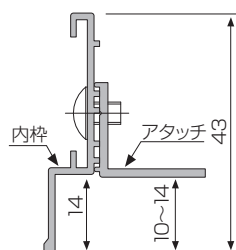
- ①外枠に吊り金具をセットする。
- ②取付用チャンネルへフックをかけ、蝶ナットで固定する。

3 内枠への天井材の取付方法

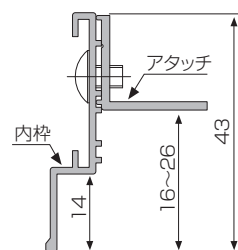


※ボード厚が15mm未満の場合は、アタッチを取り付けているビスの位置を変更することにより対応できます。

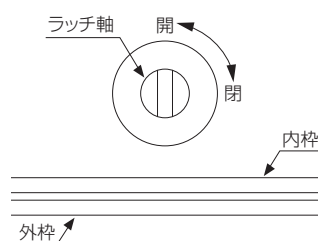
ボード厚15mm未満



ボード厚15mm以上



4 施錠



点検口を閉じ、コイン等でラッチ軸を90°右に回してロックして完了。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

目地タイプ

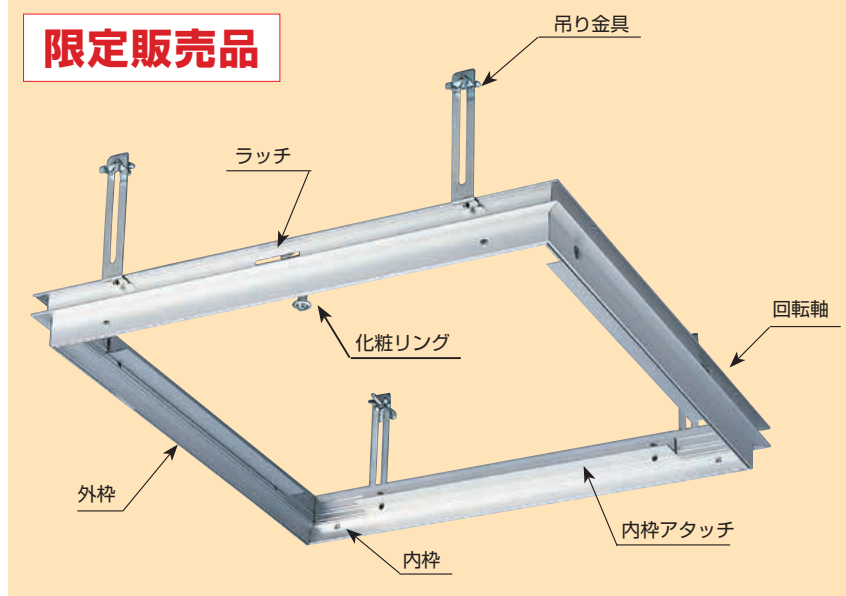
RM型

- 目地タイプ
- アルミニウム製フレーム
- 天井ボードは9mm～25mmまでに対応
- 内枠天井ボードの位置決めが簡単

〈対応表面処理〉

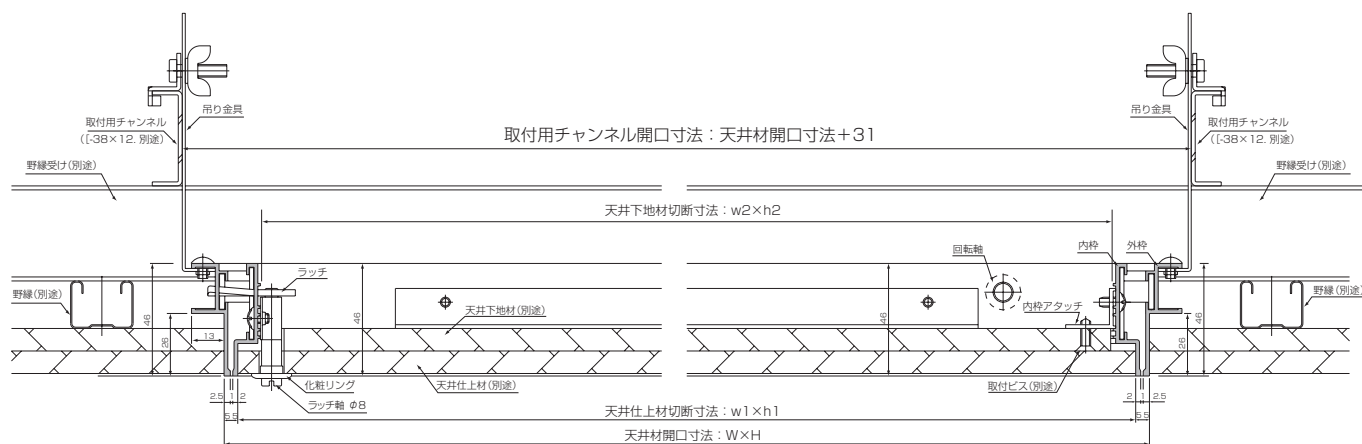
アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／焼付塗装

限定販売品



(一社) 公共建築協会 認定品

施工例



※適応天井仕上材板厚9mm～12.5mm (仕上材+下地材：9mm～25mm)

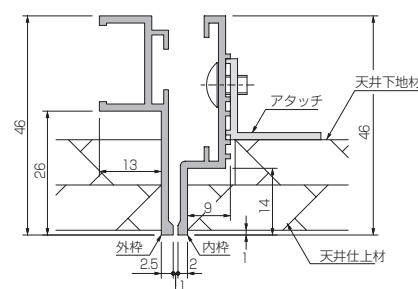


製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記号	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H (mm)	仕上材 w1×h1 (mm)	下地材 w2×h2 (mm)	
RM-303	303×303	292×292	272×272	10
RM-454	454×454	443×443	423×423	10
RM-606	606×606	595×595	575×575	5

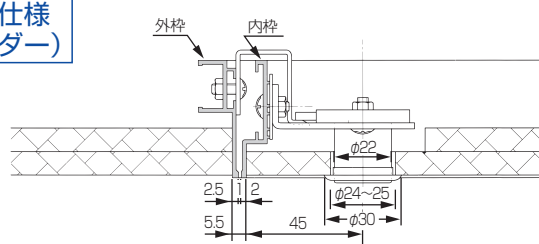
枠材詳細図



■部材仕様表

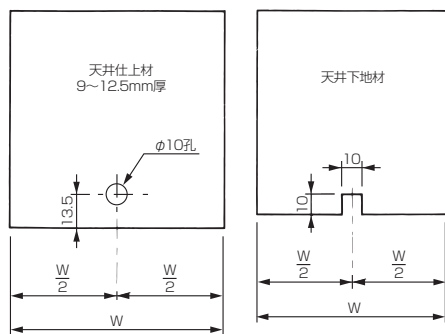
名称	材質
外枠 内枠 内枠アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具 内枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC 溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
ラッチ ラッチ軸受 化粧リング	冷間圧延鋼板 SPCC
回転軸	アルミニウム合金引抜線 5056 材
吊り金具セット	吊り金具プレート 溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
	取付フック 溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R

鍵付仕様 (オーダー)

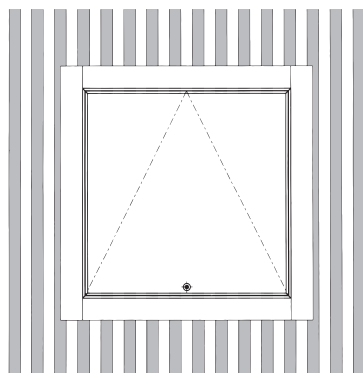


- 屋内専用の天井点検口です。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格寸法以外・観音開き及び鍵付天井点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm) W×H=200×250～片開き:909×909 観音開き:1000×1200
- ボルトタイプ吊り金具も用意しております。当社担当にお問い合わせください。

内枠側天井材の加工寸法



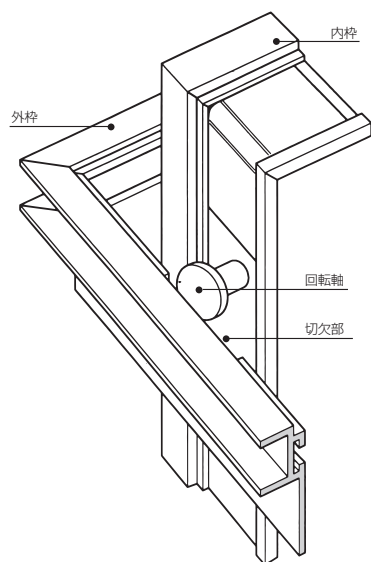
リブ等凹凸が付いた天井材の 目地タイプ天井点検口施工例



※開閉のとき、天井仕上材の表面が傷付きやすいので点検口の周辺及び内枠側へのリブ等凹凸が付いた天井材の使用は避けてください。

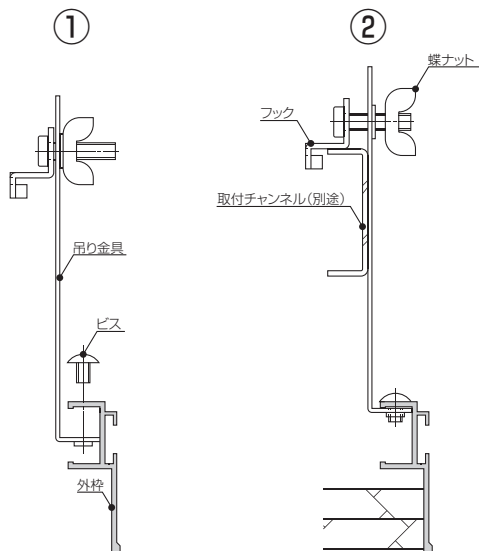
取付方法

1 内枠の脱着方法



外枠の切欠部で内枠の回転軸が脱着できます。

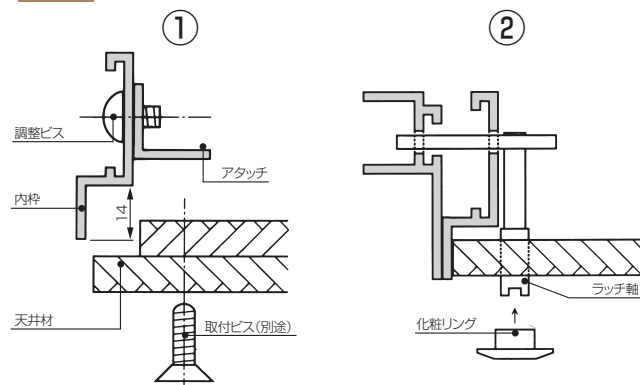
2 外枠の取付方法



外枠に吊り金具をビス止めしてください。

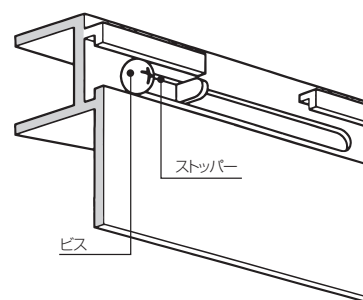
取付チャンネルへフックをかけ蝶ナットで固定してください。

3 内枠への天井材の取付方法



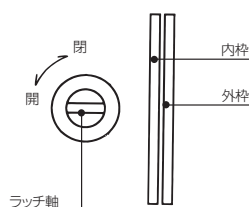
アタッチはボード厚 21mm にセットしてあります。天井材の厚さに合わせアタッチをスライドしてください。

4 内枠を外枠にセットする



内枠の脱着方法を参考にしてセットしてください。セット後は必ずストッパーをスライドさせてビスを締付けて内枠が外れない事を確認してください。

5 施錠



点検口を閉じ、コイン等でラッチ軸を90°右に回してロックして完了。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

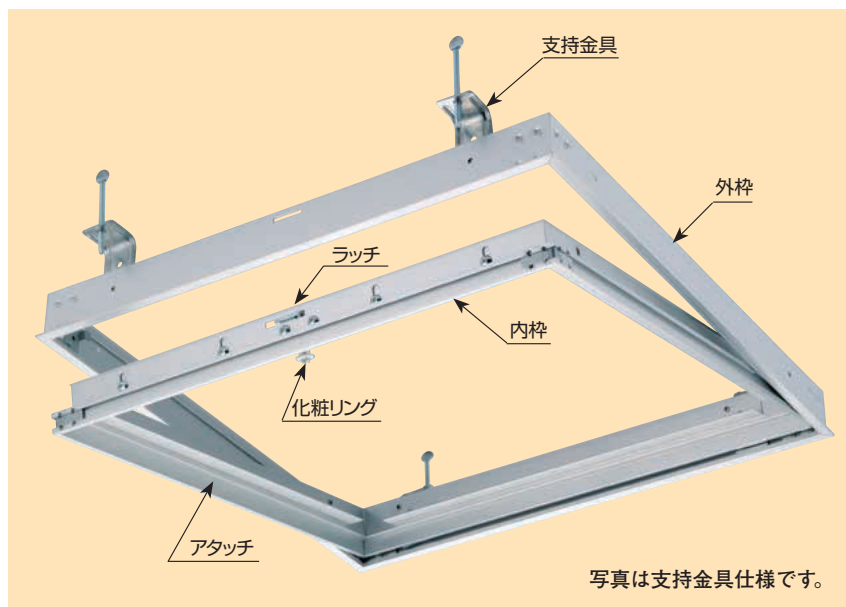
外枠額縁・内枠目地タイプ

RSIII型

- アルミニウム製フレーム
- 額縁部の幅を狭くしシャープな仕上がりを実現
- 施工が簡単な取付金具(支持金具仕様)
- 機能性を重視したシンプルなデザイン
- 支持金具は任意の位置で取付可能
- あと施工が可能
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK

〈対応表面処理〉

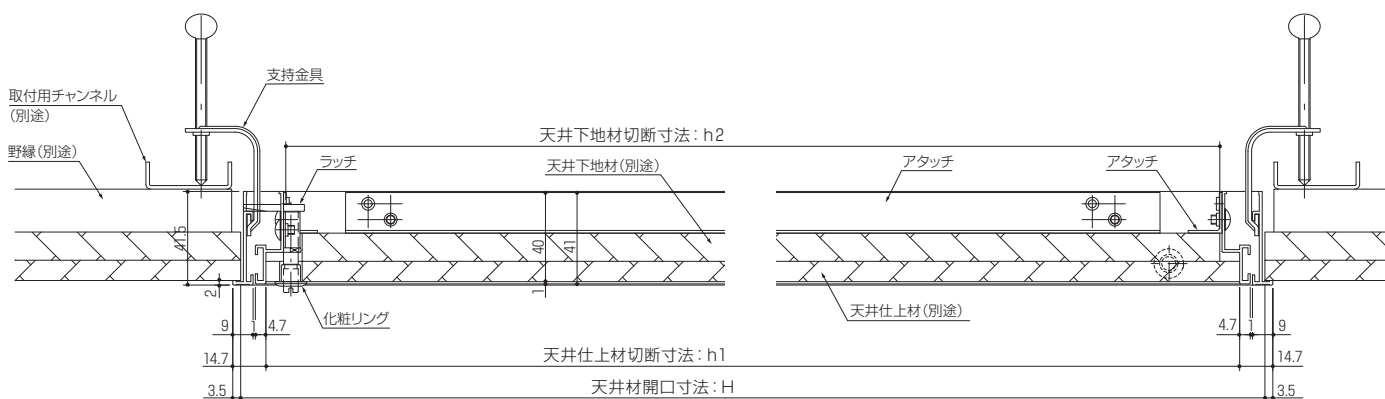
アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／焼付塗装



写真は支持金具仕様です。

(一社) 公共建築協会 認定品

施工例



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

※適応天井仕上材厚9mm～12.5mm (仕上材+下地材：9mm～26mm)

■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

呼 称	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H (mm)	仕上材 w1×h1 (mm)	下地材 w2×h2 (mm)	
RSⅢ-303	303×303	280.6×280.6	263×263	10
RSⅢ-454	454×454	431.6×431.6	414×414	10
RSⅢ-606	606×606	583.6×583.6	566×566	5
RSⅢ-306	303×606	280.6×583.6	263×566	5

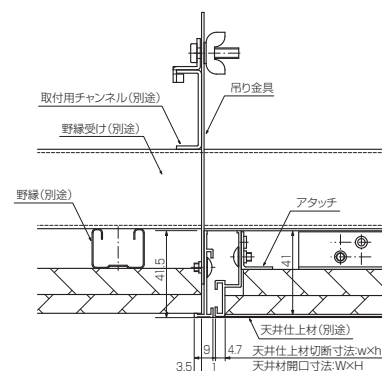
■部材仕様表

名 称	材 質
外枠	内枠アルミニウム合金押出形材
内枠	6063 材
内枠アタッチ	陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
内枠コーナー金具	
ラッチホルダー	
ラッチ	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
化粧リング	ABS 樹脂
回転軸・ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC

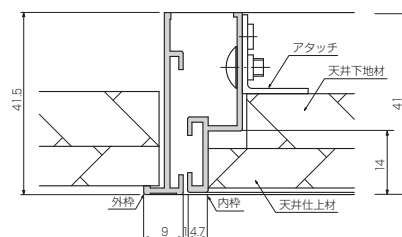
- 屋内専用の天井点検口です。
- 天井点検口の用途以外に使用しないでください。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 標準は支持金具仕様です。吊り金具仕様については当社担当へお問い合わせください。
- 規格寸法以外及び鍵付点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm) W×H=200×200～606×606(片開きのみ)

吊り金具仕様

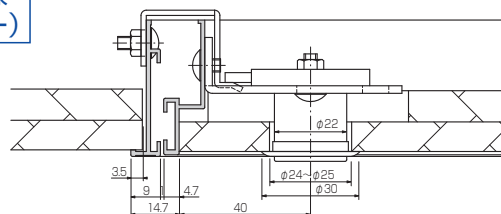
(一社) 公共建築協会
認定品



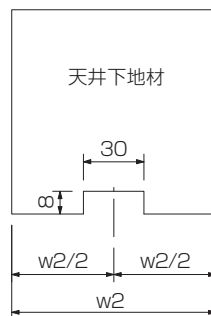
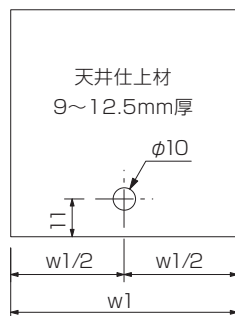
枠材詳細図



鍵付仕様 (オーダー)

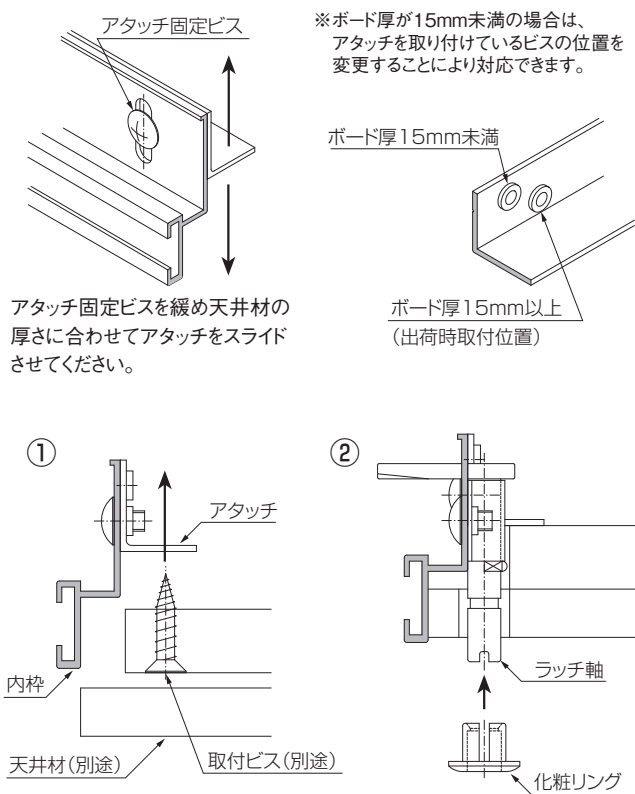


内枠側天井材の加工寸法

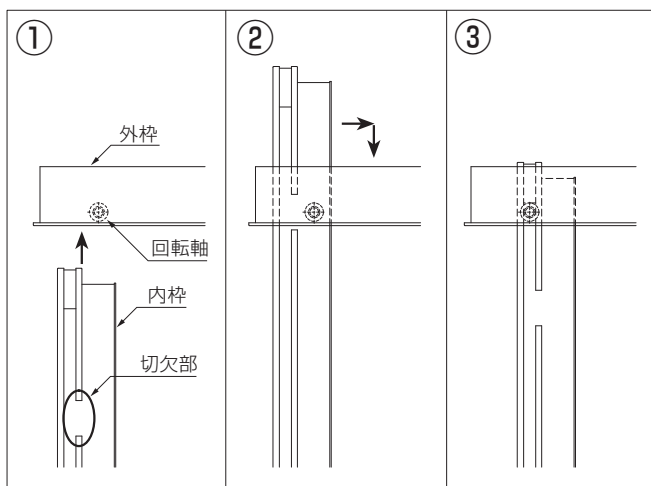


取付方法

1 内枠への天井材取付方法



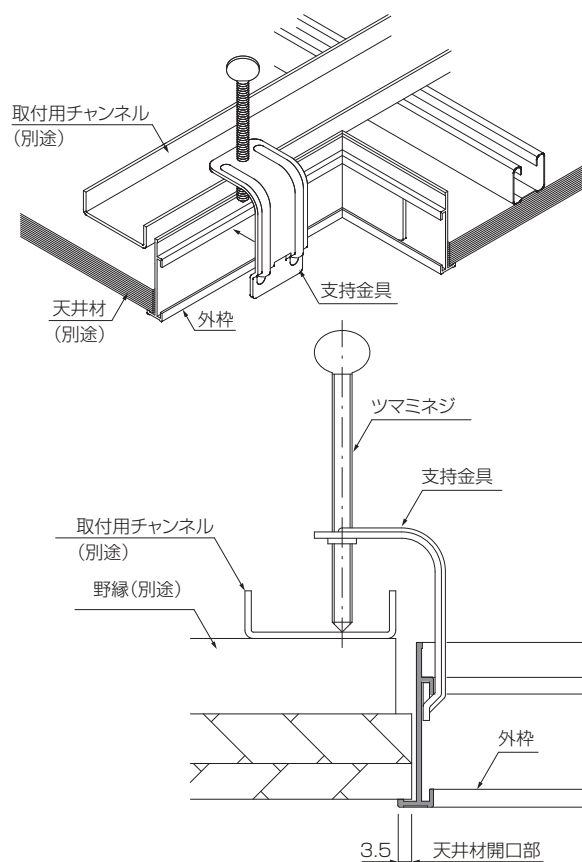
3 内枠の脱着方法



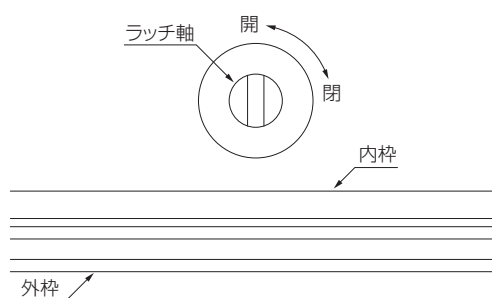
内枠の切欠部と外枠の回転軸とを合わせると内枠が脱着できます。

2 外枠の取付方法

天井材開口部に外枠をはめ込み、支持金具で固定する。



4 施錠



コイン等でラッチ軸を90°右に回してロック完了。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

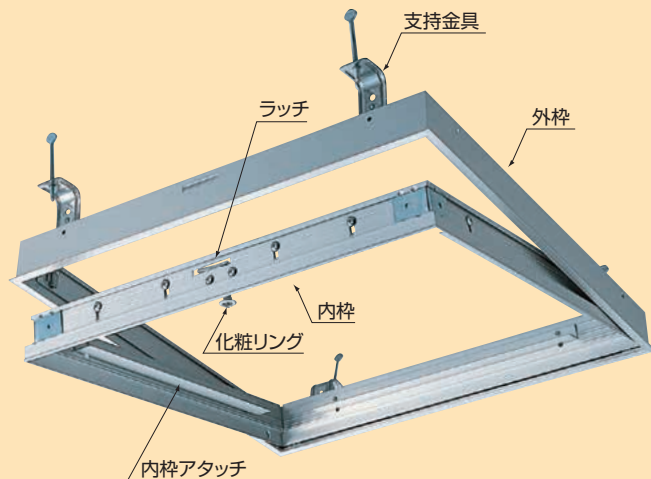
外枠額縁・内枠目地タイプ

RSG 型

- アルミニウム製フレーム
- 額縁部の幅を狭くしシャープな仕上がりを実現
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK
- 施工が簡単な取付金具(支持金具仕様)
- 内枠の天井材ボードの位置決めが簡単
- 支持金具は任意の位置で取付可能
- あと施工が可能

〈対応表面処理〉

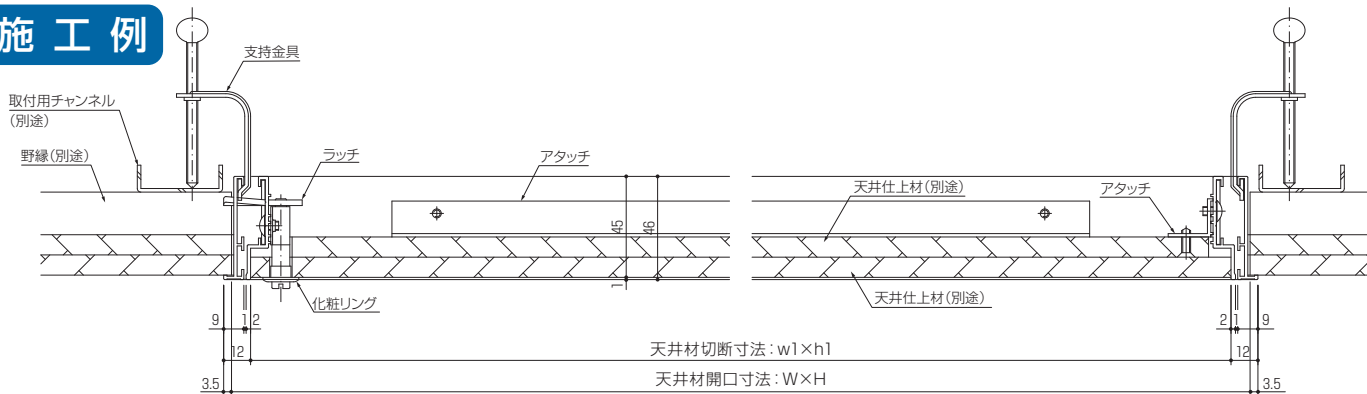
アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／焼付塗装



写真は支持金具仕様です。

(一社) 公共建築協会 認定品

施工例



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

※適応天井仕上材板厚 9～12.5mm (仕上材+下地材: 9mm～25mm)

■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記号	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H (mm)	仕上材 w1×h1 (mm)	下地材 w2×h2 (mm)	
RSG-303	309×309	292×292	272×272	10
RSG-454	460×460	443×443	423×423	10
RSG-606	612×612	595×595	575×575	5

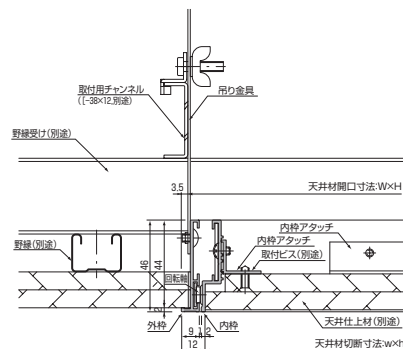
■部材仕様表

名称	材質
外枠 内枠 内枠アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
内枠コーナー金具 外枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
ラッチ ラッチ軸受 化粧リング	冷間圧延鋼板 SPCC
回転軸 ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R

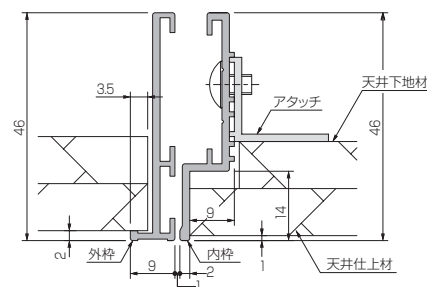
- 屋内専用の天井点検口です。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格は支持金具仕様です。吊り金具仕様の納期・価格等は当社担当に問い合わせてください。
- 規格寸法以外及び鍵付天井点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm) W×H=200×250～909×909(片開きのみ)
- ボルトタイプ吊り金具も用意してあります。当社担当にお問い合わせください。

吊り金具仕様

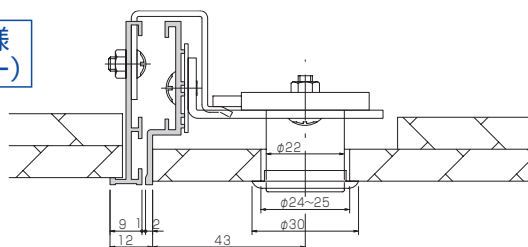
(一社) 公共建築協会
認定品



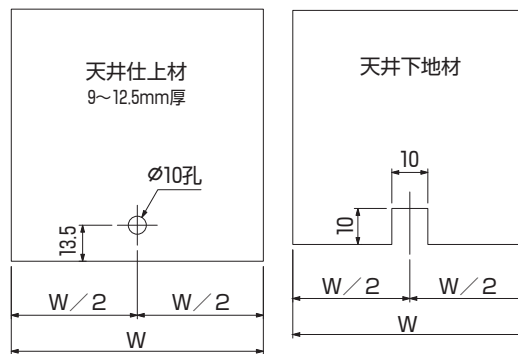
枠材詳細図



鍵付仕様 (オーダー)

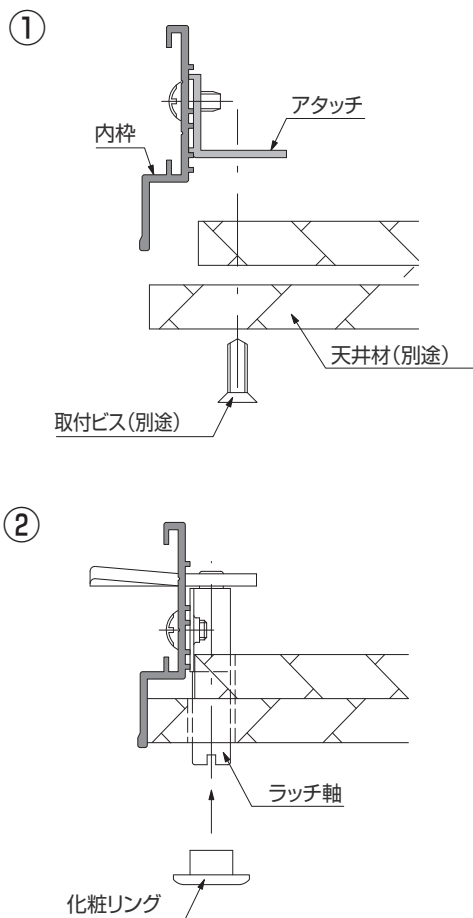


内枠側天井材の加工寸法



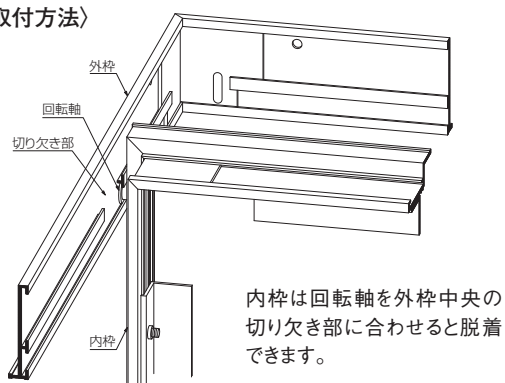
取付方法

1 内枠への天井材取付方法



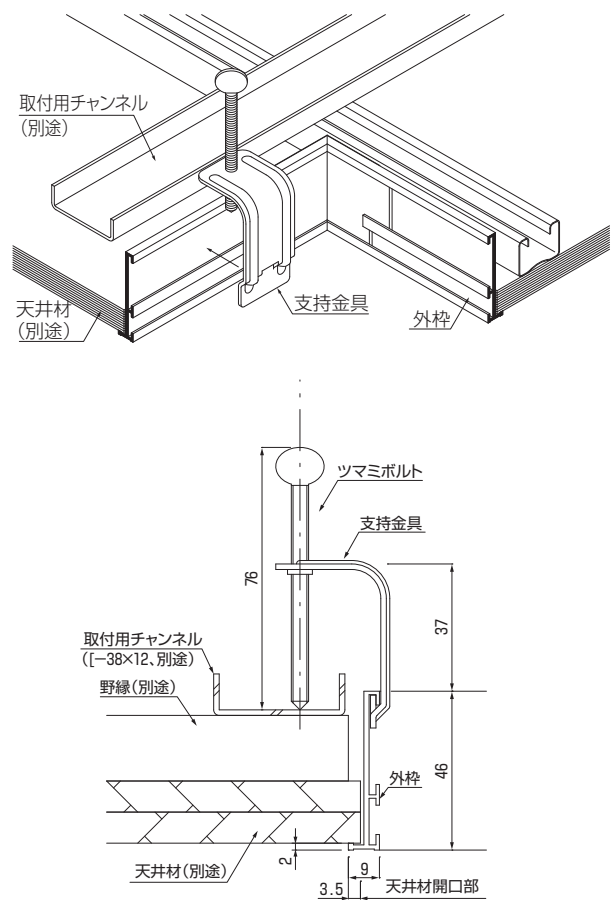
3 内枠の脱着方法

〈内枠取付方法〉

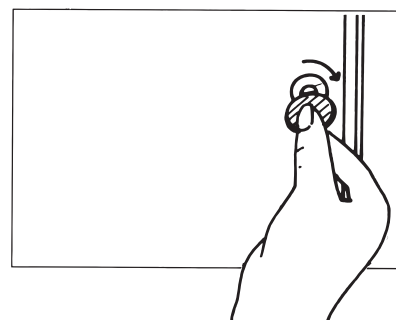


2 外枠の取付方法

天井材開口部に外枠をはめ込み、支持金具で固定する。



4 施錠



点検口を閉じ、コイン等でラッチ軸を90°右に回してロックして完了。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

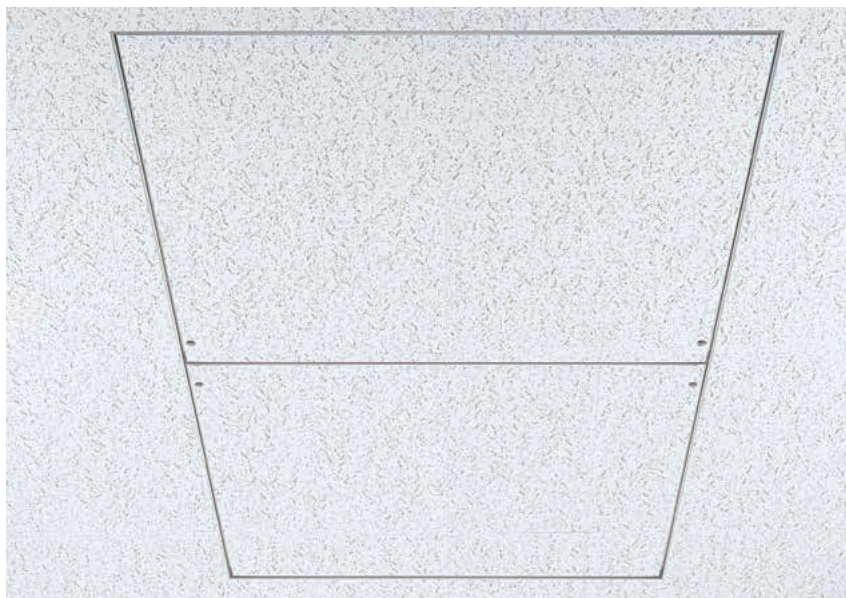
大型サイズ専用

REX型

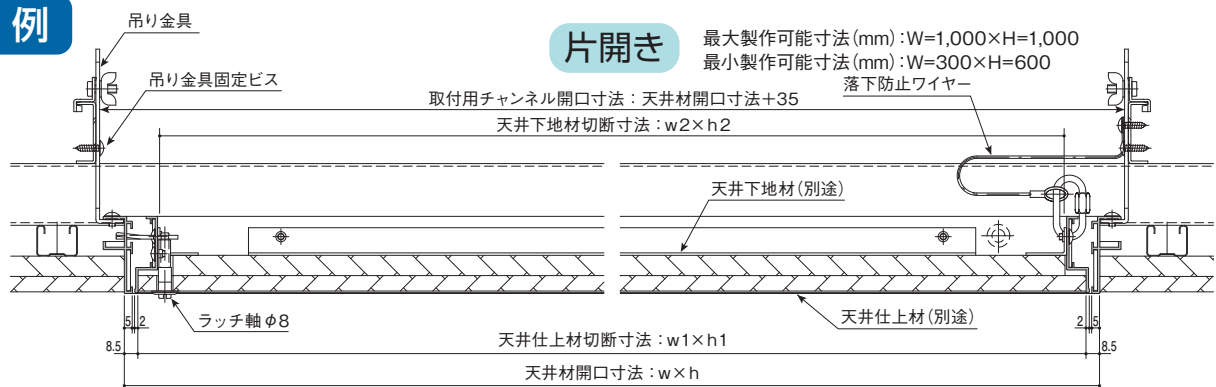
- 大型サイズ専用
- アルミニウム製フレーム
- 好みのサイズを短納期で製作
- 落下防止ワイヤーを標準装備
- 専用吊り金具を使用
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK

〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／焼付塗装



施工例

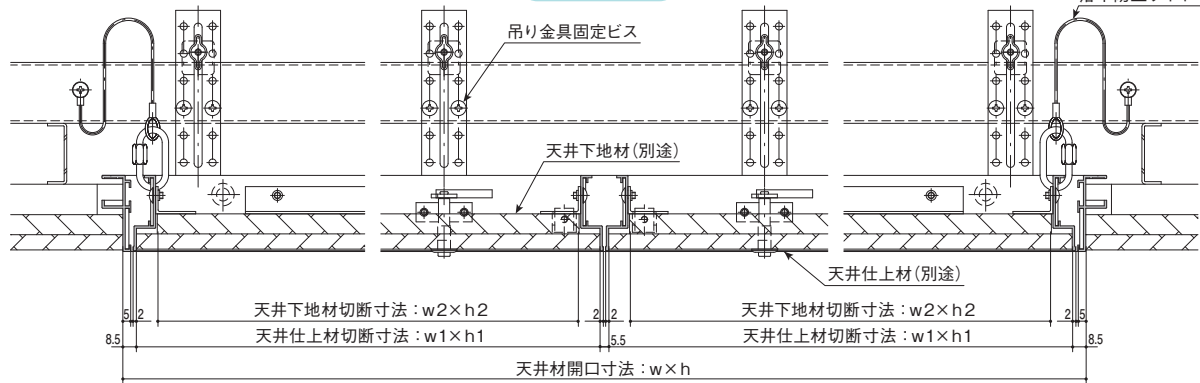


片開き

最大製作可能寸法(mm): W=1,000×H=1,000
最小製作可能寸法(mm): W=300×H=600

観音開き

最大製作可能寸法(mm): W=1,000×H=1,800
最小製作可能寸法(mm): W=300×H=600



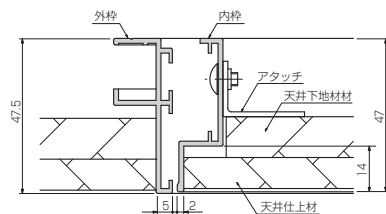
製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

適応天井仕上材: 9mm~12.5mm (仕上材+下地材: 9mm~25mm)

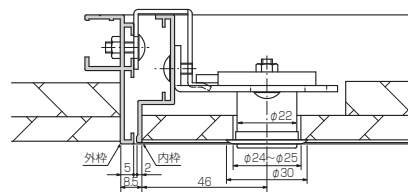
部材仕様表

名 称	材 質
外枠 内枠 内枠アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具 内枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
ラッチ ラッチ軸受 化粧リング	冷間圧延鋼板 SPCC
ラッチ軸	低炭素快削鋼 ASK - 2300
回転軸	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
吊り金具 セット	吊り金具プレート
	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
	取付フック
	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R

枠材詳細図



鍵付仕様 (オーダー)



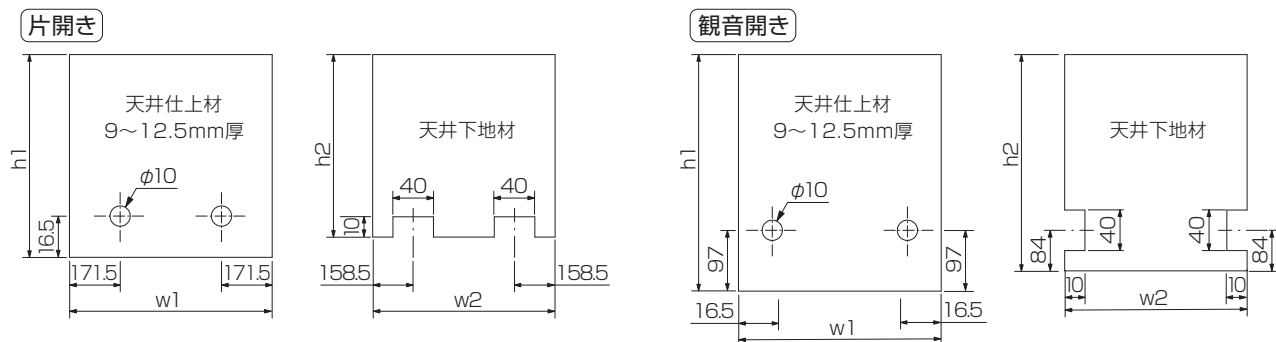
■屋内専用の点検口です。

■重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。

〈参考〉内枠1枚あたりの天井材許容重量約15kg(石膏ボード12.5mm×2枚)

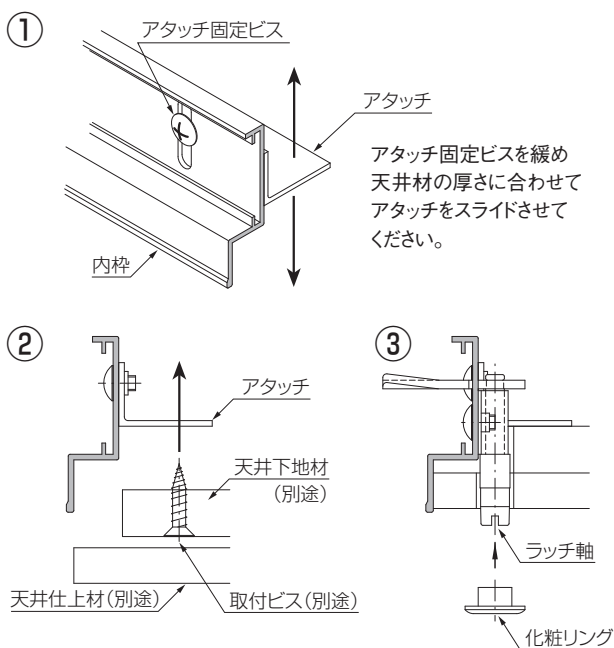
■天井点検口の用途以外に使用しないでください。

内枠側天井材の加工寸法

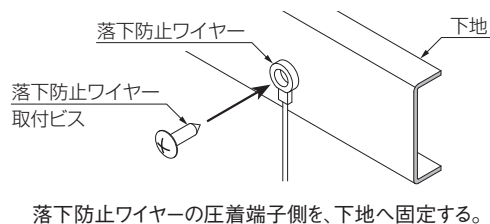


取付方法

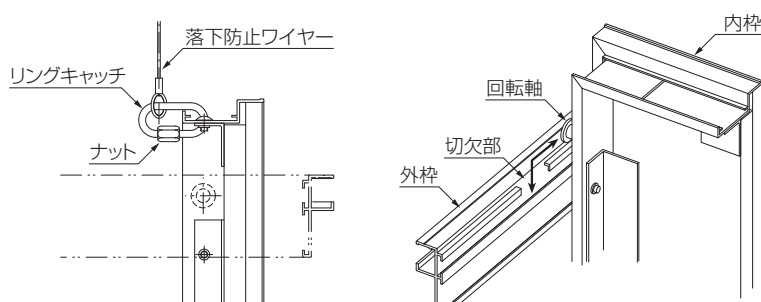
1 内枠の脱着方法



3 落下防止ワイヤーの取り付け

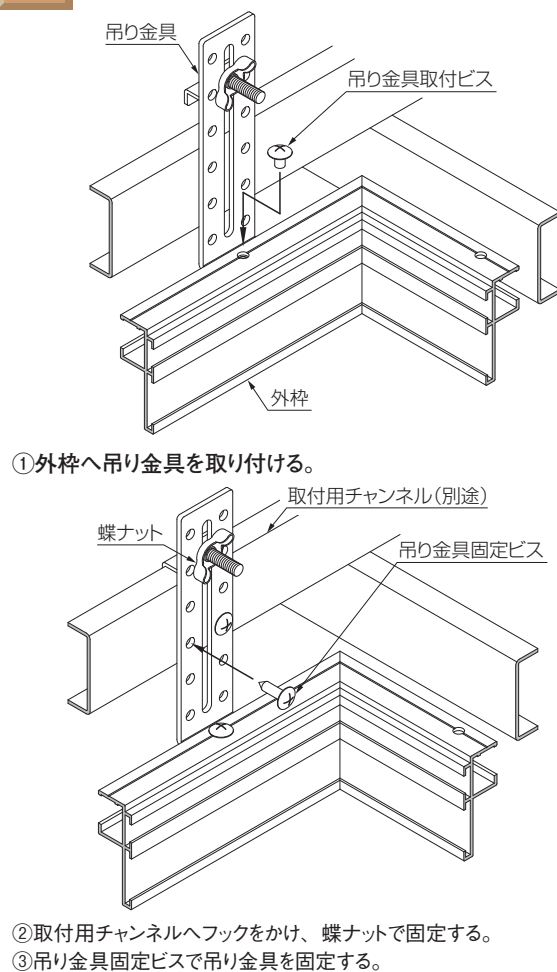


4 内枠の取り外し

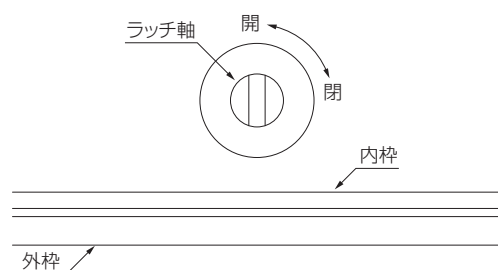


内枠の取り付けは、逆の手順で行ってください。

2 外枠の取付方法



5 施錠



コイン等でラッチ軸を90°右に回してロックし、内枠が開かないことを確認してください。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

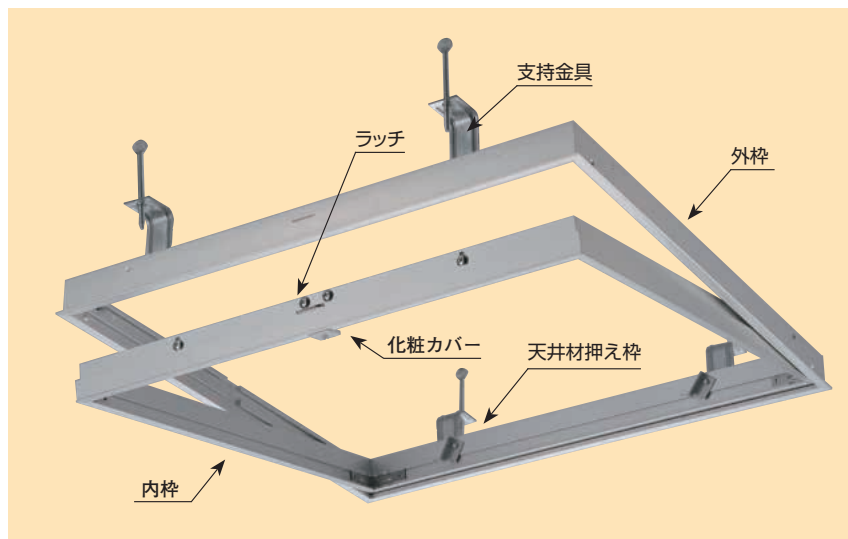
細額縁タイプ

RLG型

- アルミニウム製フレーム
- 目地タイプのようなスリムで意匠性に優れた細額縁タイプ
- 施工性は額縁タイプと同等
- あと施工が可能
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK

〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホホワイト／焼付塗装



(一社) 公共建築協会 認定品

比較

※当社製品



額縁タイプ

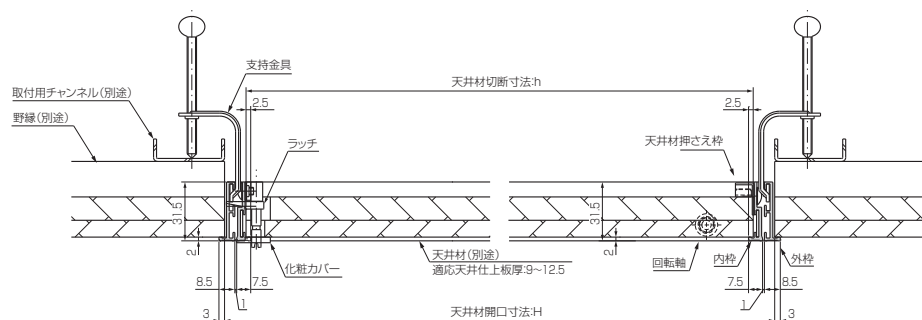
RP型



細額縁タイプ

RLG型

施工例



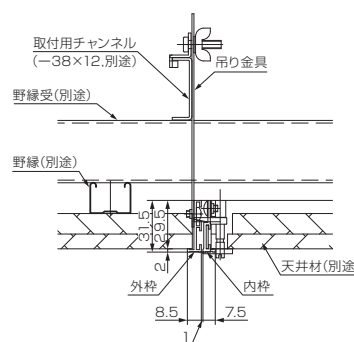
※適応天井仕上材厚：3mm～12.5mm(仕上材+下地材：3mm～26mm)



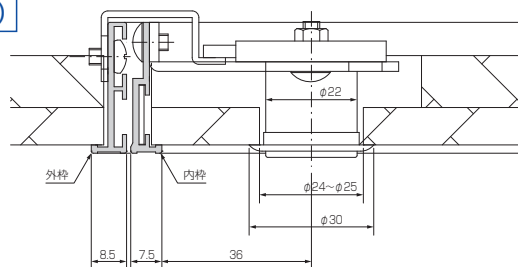
製品には全て注意シールを貼ってあります。安全には十分注意してください。

吊り金具仕様

(一社) 公共建築協会 認定品



鍵付仕様(オーダー)



■天井材切欠寸法表 天井材は正確に加工してください。

呼 称	天井材開口寸法	天井材切断寸法	入数 (台)
	W×H(mm)	w×h(mm)	
RLG-303	303 × 303	280 × 280	10
RLG-454	454 × 454	431 × 431	10
RLG-606	606 × 606	583 × 583	5

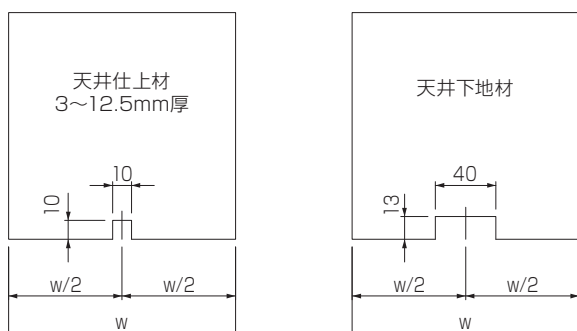
■部材仕様表

名 称	材 質
外枠 内枠	アルミニウム合金押出型材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具 内枠コーナー金具 ラッチホルダー	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
ラッチ	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
化粧カバー	ABS 樹脂
回転軸	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC

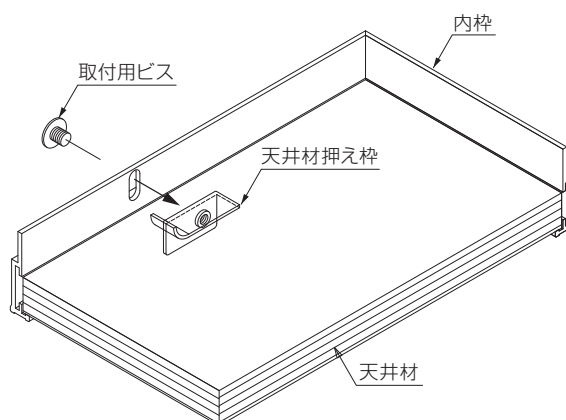
- 屋内専用の天井点検口です。
- 天井点検口の用途以外に使用しないでください。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格寸法以外及び鍵付点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
最小(mm):W×H=200×250～606×606(片開きのみ)

1 内枠への天井材取付方法

内枠天井材の加工寸法

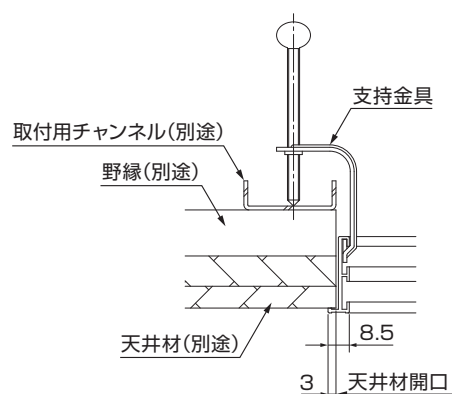
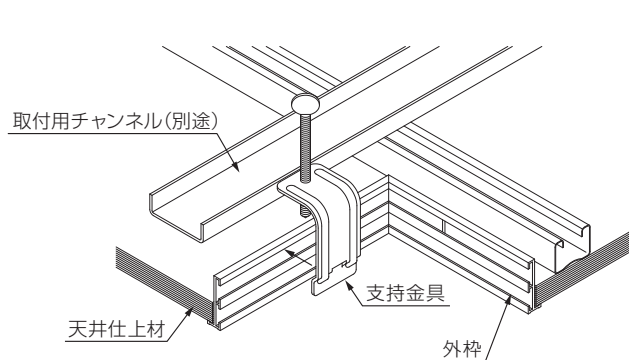


内枠への天井材取付寸法



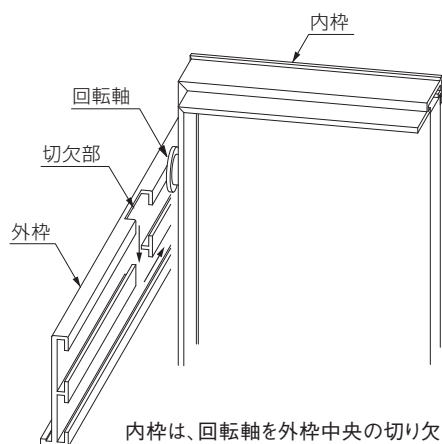
- ① 天井材を所定寸法に切断し、内枠にはめこむ。(寸法表参照)
- ② 天井材押え枠で天井材を固定し、ビス止める。

2 外枠の取付方法



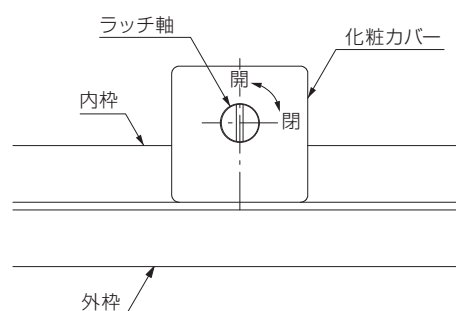
- ① 外枠に吊り金具をセットする。
- ② 取付用チャンネルフックをかけ、蝶ナットで固定する。

3 内枠の脱着方法



内枠は、回転軸を外枠中央の切り欠き部に合わせることで脱着できます。

4 施錠



コイン等でラッチ軸を90°右に回してロック完了。
※90°以上回さないでください。

天井点検口

額縁タイプ

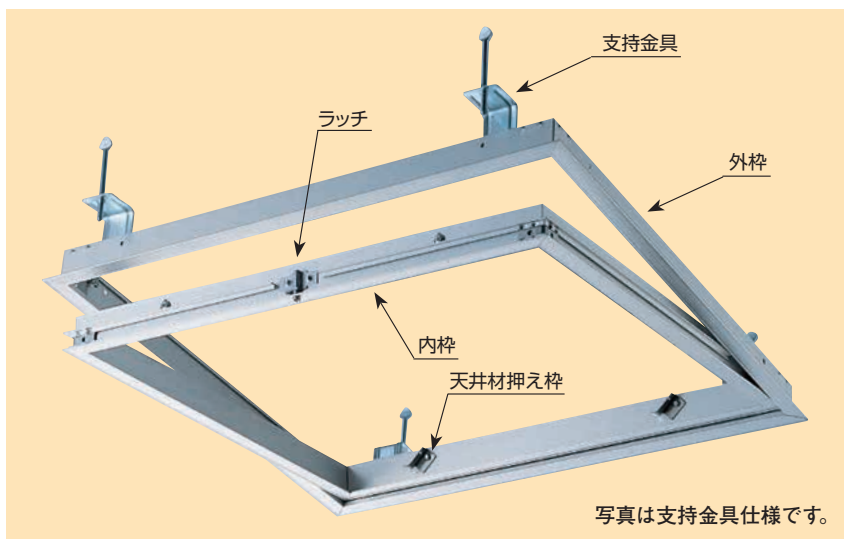
RP型

- アルミニウム製フレーム
- 施工性UP
- 内枠の脱着は自在・工具無しでセットOK
- あと施工が可能
- 外枠天井材のりしろが広い
- 支持金具は任意の位置で取付可能
- 施錠時の安全性向上

〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／

木目調／焼付塗装



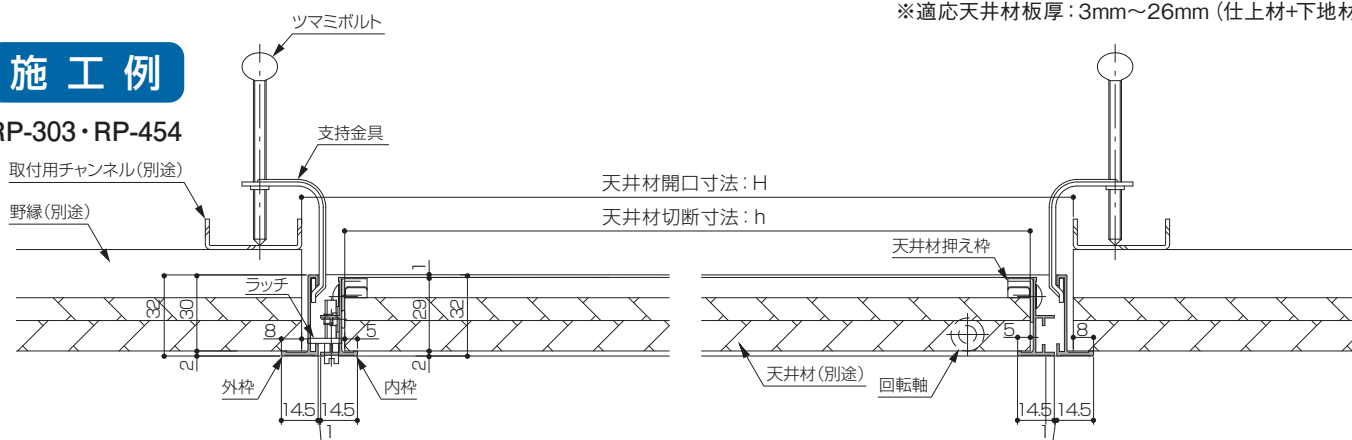
写真は支持金具仕様です。

(一社) 公共建築協会 認定品

※適応天井材板厚：3mm～26mm（仕上材+下地材）

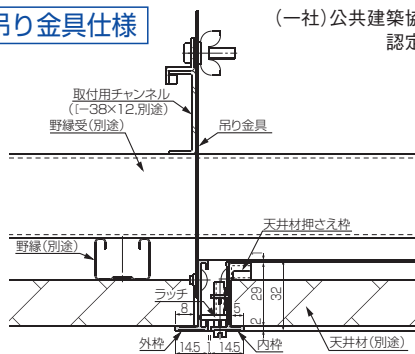
施工例

RP-303・RP-454



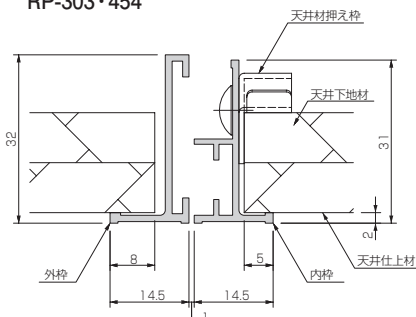
吊り金具仕様

(一社) 公共建築協会
認定品

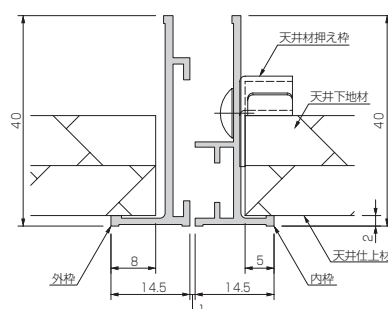


枠材詳細図

RP-303・454



RP-606



天井材切欠寸法表

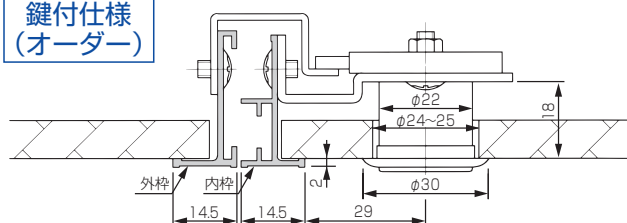
天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記号	天井材開口寸法	天井材切断寸法	入数 (台)
	W×H(mm)	w×h(mm)	
RP-303	303 × 303	269 × 269	10
RP-454	454 × 454	420 × 420	10
RP-606	606 × 606	572 × 572	5
RP-306	303 × 606	269 × 572	10

部材仕様表

名称	材質
外枠・内枠	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具・天井材押え栓	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
内枠コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
回転軸・ラッチ・ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
ラッチ軸受	冷間圧延鋼板 SPCC
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC

鍵付仕様 (オーダー)



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

- 屋内専用の天井点検口です。(取付方法はP23を参照にしてください。)
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当に問い合わせてください。
- 規格は支持金具仕様・天井材押え栓ビス止め式です。
(吊り金具仕様・天井材押え栓接着式も製作致します。当社担当にご相談ください。)
- 規格寸法以外及び鍵付天井点検口もオーダーにて製作致しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法は、P40をご確認ください。

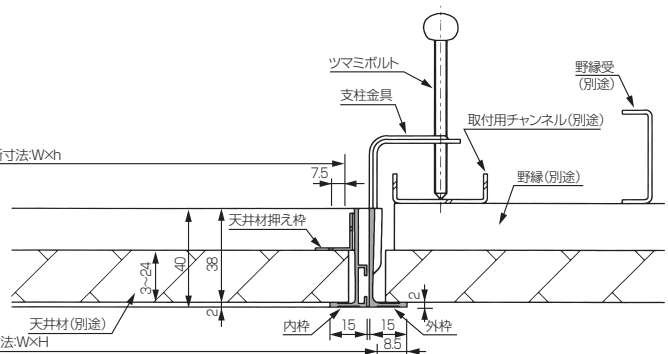
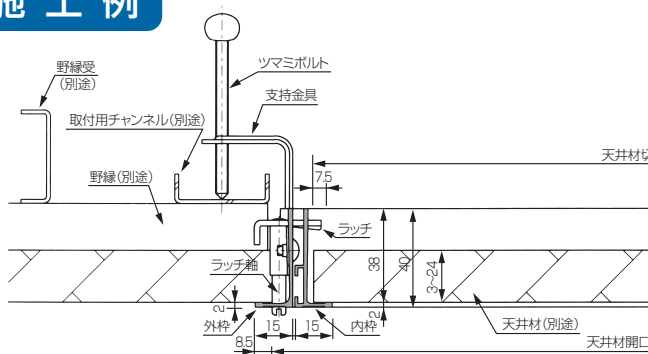
RC型

- アルミニウム製フレーム
- モダンな形材のアルミストライプで優れたインテリア性を発揮
- 施工時間を短縮し、しかも完成度の高い仕上がりを実現
- 内枠(ドア部)は脱着自在 工具なしでセットOK
- 内枠用天井材のセットは粘着テープ式でフレキシブル&スピーディー

〈対応表面処理〉

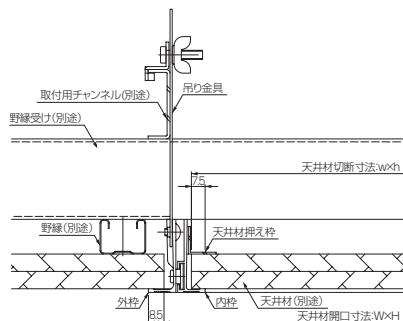
アルマイトシルバー／アルマイトカラー／焼付塗装

施工例

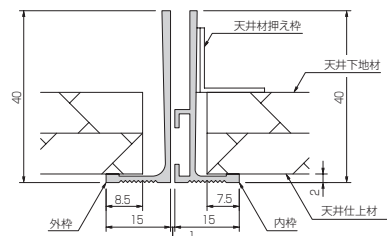


吊り金具仕様

(一社)公共建築協会
認定品



杢材詳細図



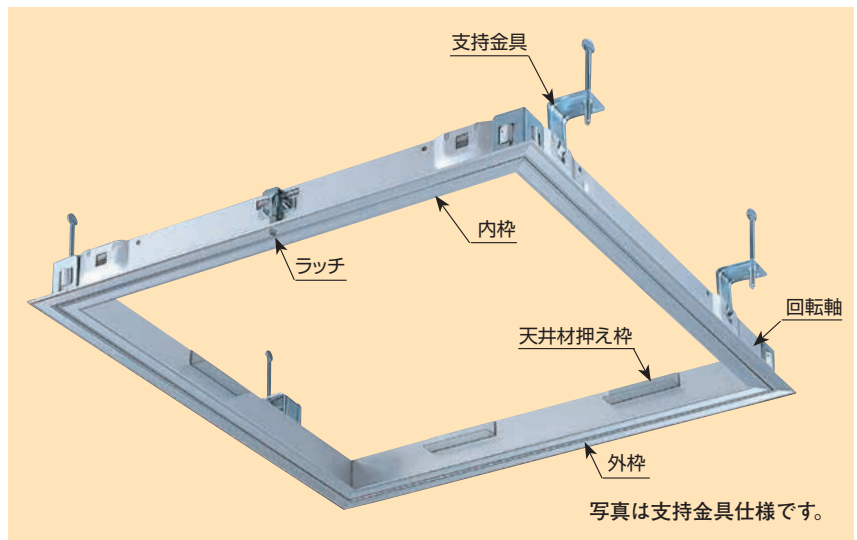
■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

S:片開きタイプ W:観音開きタイプ

記 号	天井材開口寸法	天井材切断寸法	入数 (台)
	W×H(mm)	w×h(mm)	
RC-303	303 × 303	273 × 273	10
RC-306	303 × 606	273 × 576	10
RC-454	454 × 454	424 × 424	10
RC-606	606 × 606	576 × 576	5
※RC-909S	909 × 909	879 × 879	1
※RC-909W	909 × 909	879 × 431	1

■部材仕様表

名 称		材 質
外枠		アルミニウム合金押出形材 6063 材
内枠		陽極酸化塗装複合皮膜仕上
内枠コーナー金具		溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
外枠コーナー金具		冷間圧延鋼板 SPCC
ラッチ		
ラッチ軸受		
回転軸		アルミニウム合金引拔線 5056 材
セ ト 支 持 金 具	ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
	支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
天井材押え枠		溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC

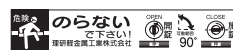
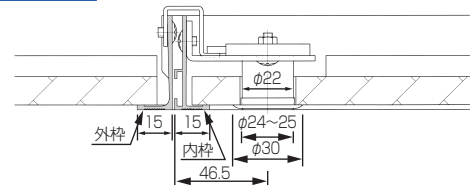


写真は支持金具仕様です。

(一社) 公共建築協会 認定品

※適応天井材板厚：最大25mm（仕上材+下地材）

鍵付仕様(オーダー)

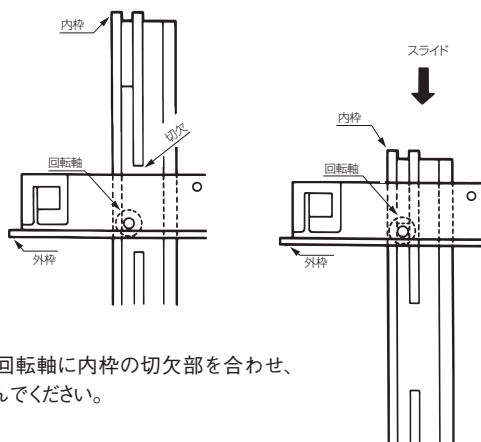


製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

- 屋内専用の天井点検口です。(取付方法はP23を参照にしてください。)
 - 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
 - 規格は支持金具仕様です。吊り金具仕様は当社担当に問い合わせてください。
 - 規格寸法以外・観音開き及び鍵付天井点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
- 製作可能寸法(mm):W×H=200×200～片開き:909×909 観音開き:1000×1200
- ※印及び規格品以外は吊り金具仕様です。また、受注生産品です。
 - ボルトタイプ吊り金具も用意しております。当社担当にお問い合わせください。
 - 外部軒天仕様も製作します。一部規格品と仕様が異なりますので、当社担当へお問い合わせください。(P44を参照)
- ▲規格品のまま外部軒天井へ使用することはできませんのでご注意ください。

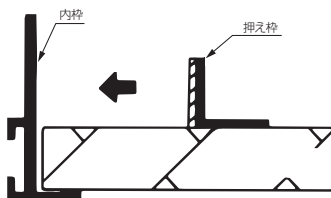
RC・RA 型

1 内枠の脱着方法



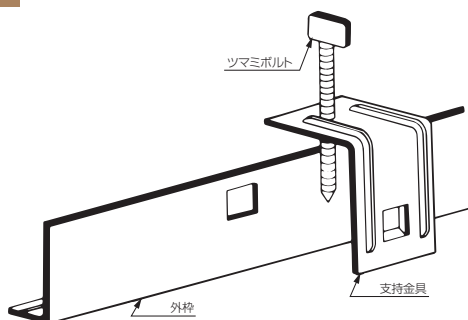
外枠の回転軸に内枠の切欠部を合わせ、落し込んでください。

2 内枠への天井材取付方法



内枠内寸に合わせ(天井材切欠寸法表参照) 天井材をハメ込み、天井材押え棒(粘着テープ式)で固定。

3 外枠の取付方法



外枠外寸に合わせて(天井材切欠寸法表参照) 天井材に開口部を設け外枠をセット。支持金具を外枠の連結部に差し込み、天井材と軽量下地をシャコマン形式でボルト締めします。
支持金具は4辺に取り付け可能です。

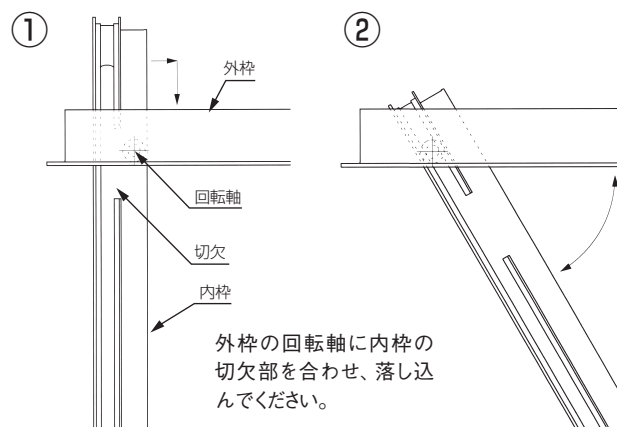
4 施錠

点検口を閉じ、コイン等で内枠のラッチの軸を90度右に回してロック完了。
※90°以上回さないでください。



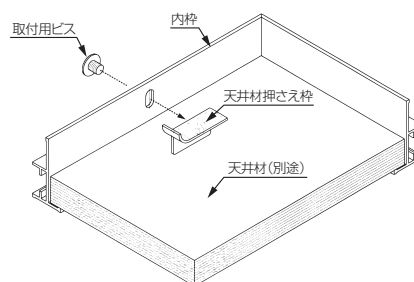
RP 型

1 内枠の脱着方法



外枠の回転軸に内枠の切欠部を合わせ、落し込んでください。

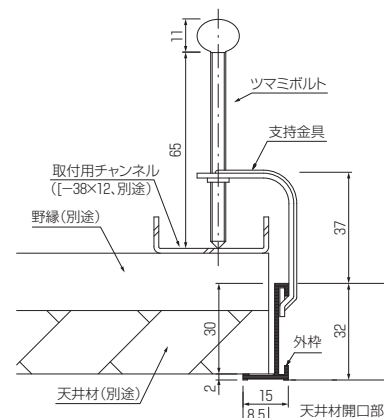
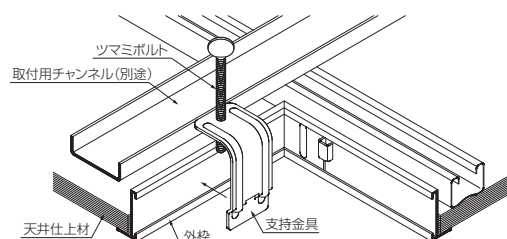
2 内枠への天井材取付方法



- ①天井材を所定寸法に切断し、内枠にはめ込む。(寸法表参照)
- ②天井材を押さえ、枠をビス止める。

3 外枠の取付方法

天井材開口部に外枠をはめ込み、支持金具で固定する。



4 施錠 (RC・RA と同様)

天井点検口

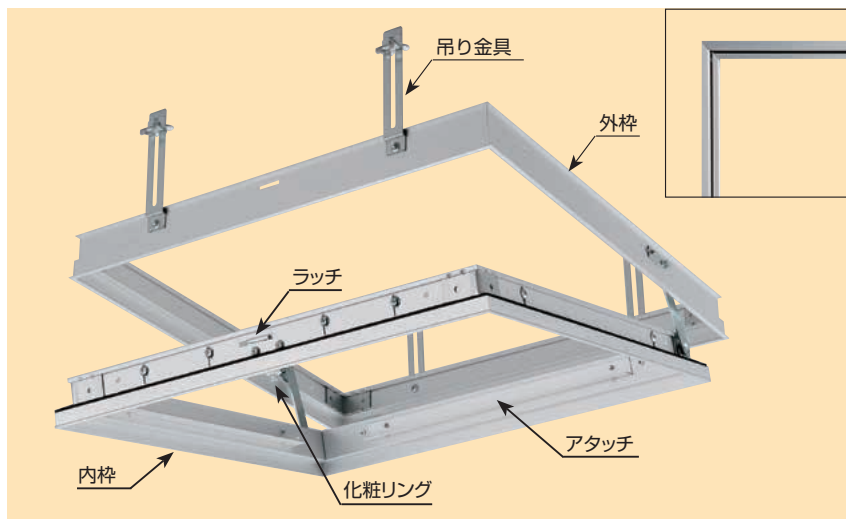
目地・気密タイプ

CKM型

- アルミニウム製フレーム
- これまでの気密タイプ点検口と違い、額縁部の幅が狭くシャープな仕上がりを実現
- 外枠は、天井材を開口した後に取り付けが可能
- 機能性を重視したシンプルなデザイン
- あと施工が可能

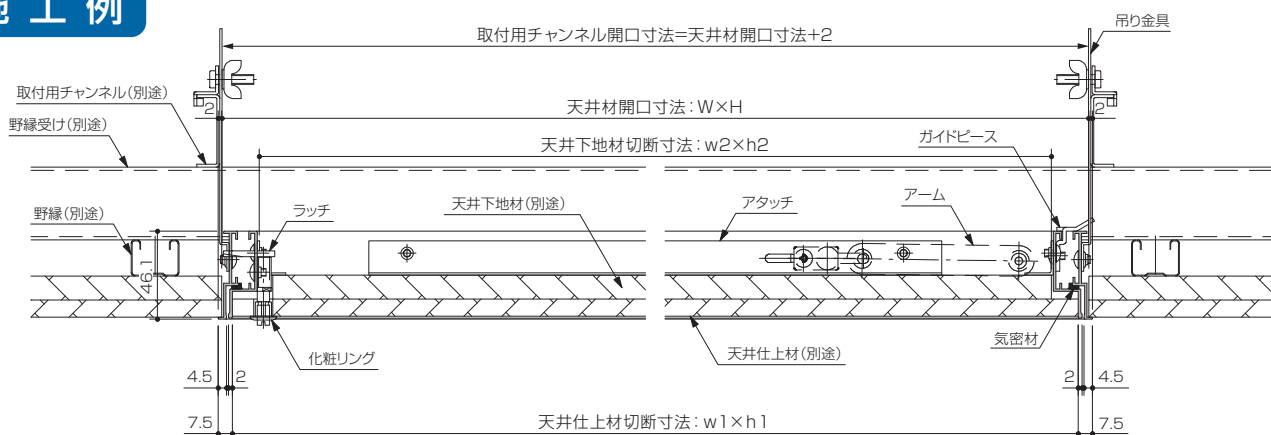
〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホホワイト／焼付塗装



(一社) 公共建築協会 認定品

施工例



※適応天井仕上材板厚：9mm～12.5mm(仕上材+下地材：9mm～26mm)



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

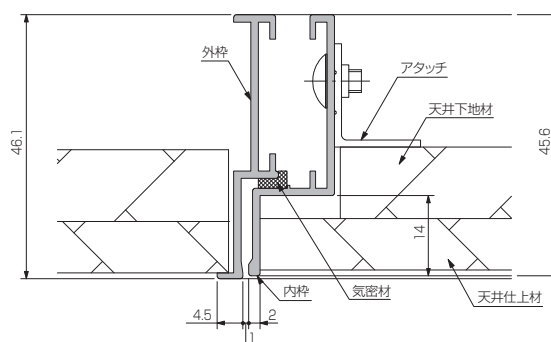
■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記 号	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H(mm)	仕上材 w1×h1(mm)	下地材 w2×h2(mm)	
CKM-303	303×303	292×292	264×264	10
CKM-454	454×454	443×443	415×415	10
CKM-606	606×606	595×595	567×567	5

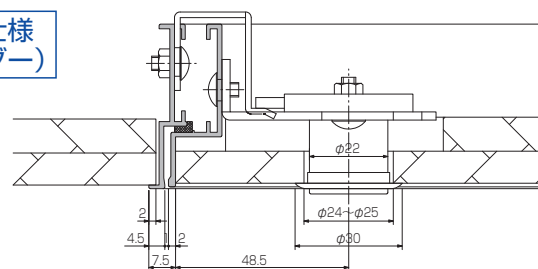
■部材仕様表

名 称	材 質
外枠・内枠・アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具 内枠コーナー金具 ラッチホルダー ストッパー	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
ラッチ	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
アーム・ガイドピース	冷間圧延鋼板 SPCC
回転軸・アーム取付軸	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
化粧リング	ABS 樹脂
気密材	EPDM 発泡体
吊り金具	吊り金具プレート
	取付フック
	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R

枠材詳細図

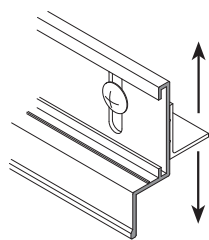


鍵付仕様 (オーダー)



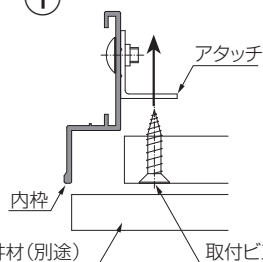
- 屋内専用の天井点検口です。
- 天井点検口の用途以外に使用しないでください。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格寸法以外及び鍵付点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm) W×H=200×250～909×909(片開きのみ)

1 内枠への天井材取付方法

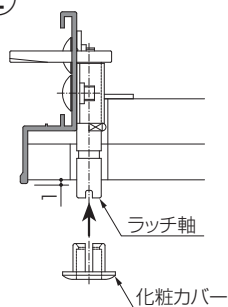


アタッチ固定ビスを緩め
天井材の厚さに合わせて
アタッチをスライドさせて
ください。

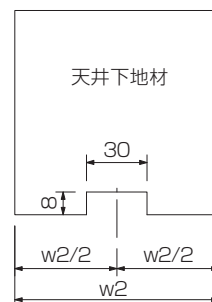
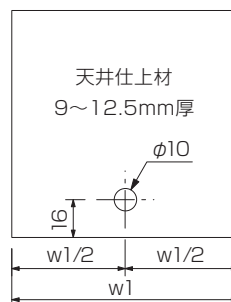
①



②



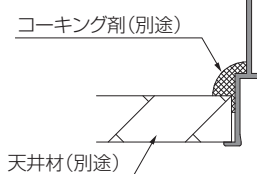
内枠天井材の加工寸法



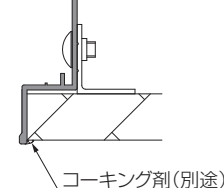
気密効果を高める方法

外・内側の立ち上がり部と天井材とをコーキング材等でシールしてください。

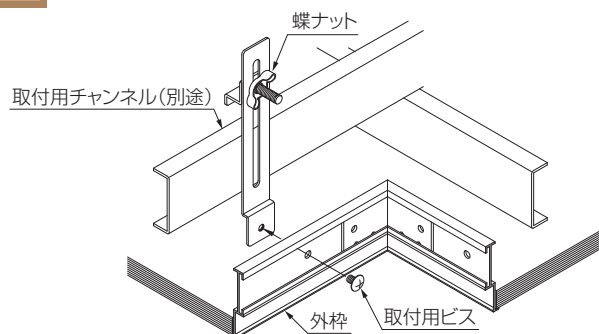
外枠側シール例



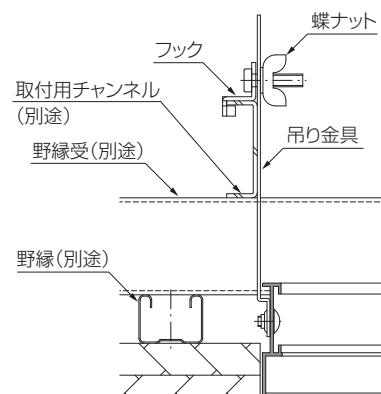
内枠側シール例



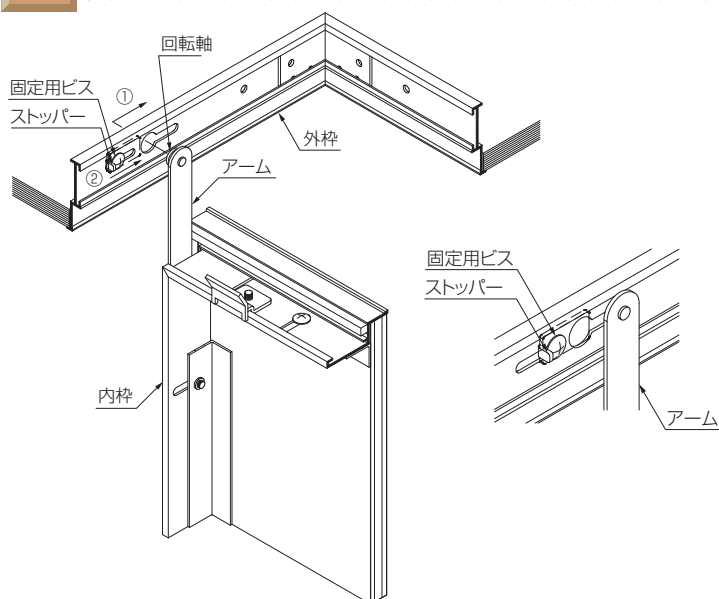
2 外枠の取付方法



- ① 外枠に吊り金具をセットする。
- ② 取付用チャンネルへフックをかけ、蝶ナットで固定する。



3 内枠の脱着方法

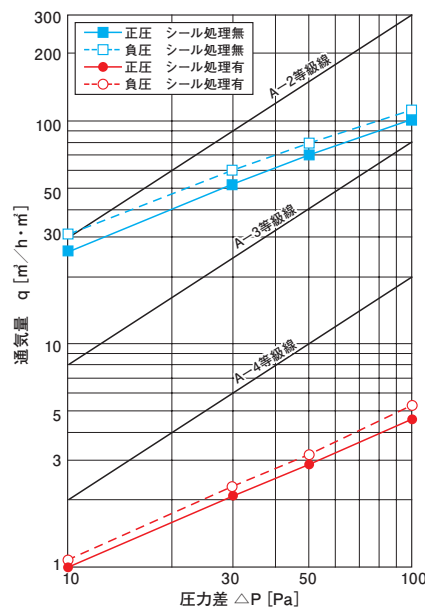


- ① アーム先端の回転軸を、外部回転軸受け孔へ取り付け。
- ② 固定用ビスを緩め、ストッパーをアーム側へスライドさせ
固定用ビスを締めてください。

気密性能

気密性能試験結果

(JIS A 1516 [建具の気密試験方法])



※当社試験値です。保証値ではありません。

天井点検口

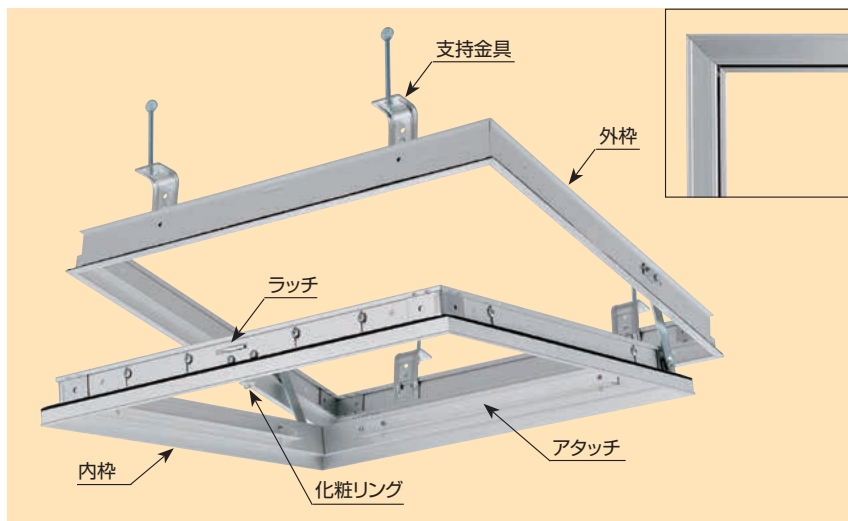
外枠額縁・内枠目地・気密タイプ

CKGM型

- アルミニウム製フレーム
- これまでの気密タイプ点検口と違い
額縁部の幅が狭くシャープな仕上がりを実現
- 機能性を重視したシンプルなデザイン
- 支持金具は任意の位置で取付可能
- あと施工が可能

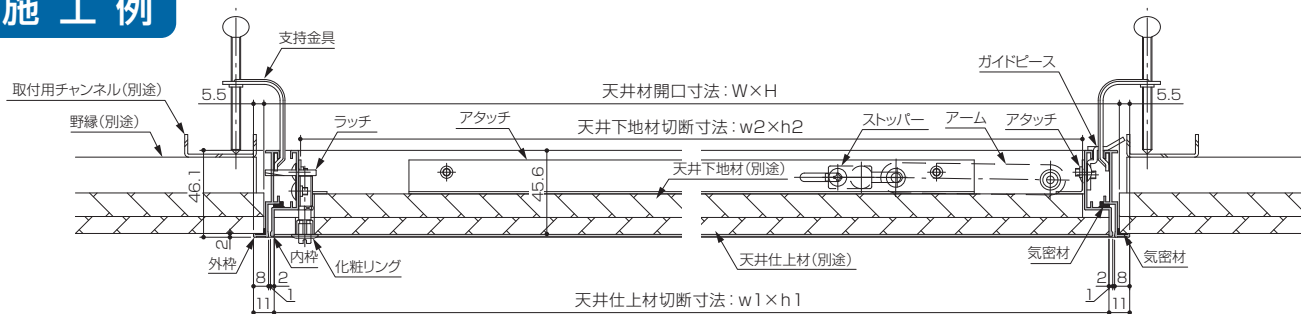
〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホホワイト／焼付塗装



(一社) 公共建築協会 認定品

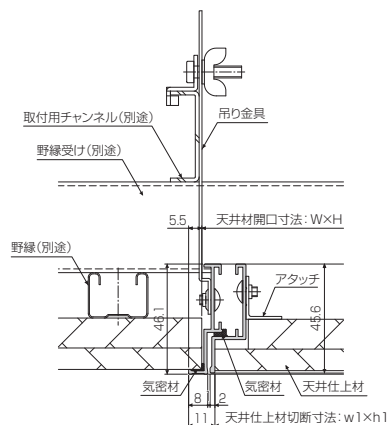
施工例



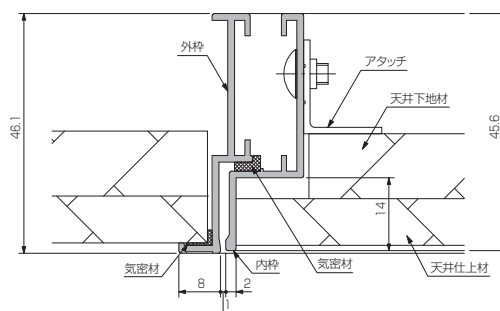
※適応天井仕上材板厚: 9mm~12.5mm (仕上材+下地材: 9mm~26mm)

吊り金具仕様

(一社) 公共建築協会
認定品



枠材詳細図



■天井材切欠寸法表

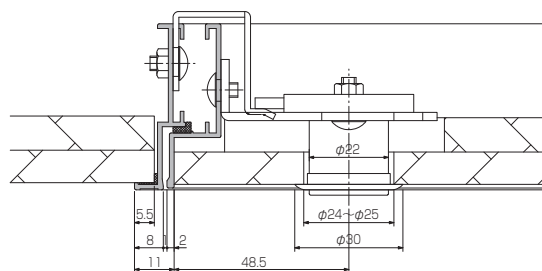
天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記 号	天井材開口寸法	天井材切断寸法		入数 (台)
	W×H (mm)	仕上材 w1×h1 (mm)	下地材 w2×h2 (mm)	
CKGM-303	303×303	292×292	264×264	10
CKGM-454	454×454	443×443	415×415	10
CKGM-606	606×606	595×595	567×567	5

■部材仕様表

名 称	材 質
外枠・内枠・アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
外枠コーナー金具 内枠コーナー金具 ラッチホルダー ストッパー	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
ラッチ	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
アーム・ガイドピース	冷間圧延鋼板 SPCC
回転軸・アーム取付軸 ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
化粧リング	ABS 樹脂
気密材	EPDM 発泡体
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC

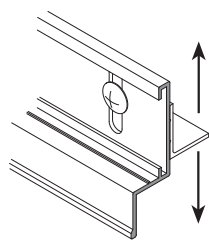
鍵付仕様(オーダー)



製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

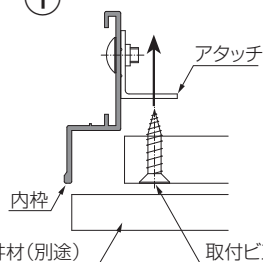
- 屋内専用の天井点検口です。
- 天井点検口の用途以外に使用しないでください。
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当にお問い合わせください。
- 規格寸法以外及び鍵付点検口もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm) W×H=200×250~909×909(片開きのみ)

1 内枠への天井材取付方法



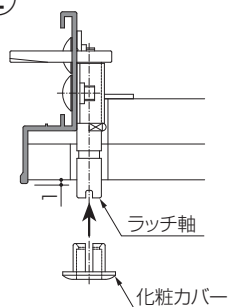
アタッチ固定ビスを緩め
天井材の厚さに合わせて
アタッチをスライドさせて
ください。

①



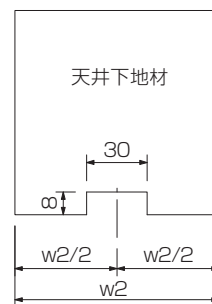
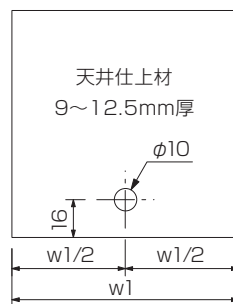
天井材(別途) 取付ビス(別途)

②



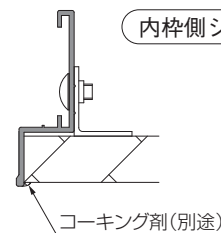
化粧カバー

内枠側天井材の加工寸法



気密効果を高める方法

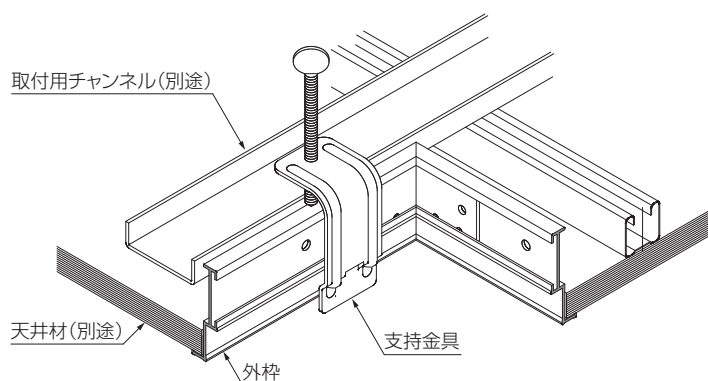
内側の立ち上がり部と天井材とをコーキング材等でシールしてください。



内枠側シール例

コーキング剤(別途)

2 外枠の取付方法

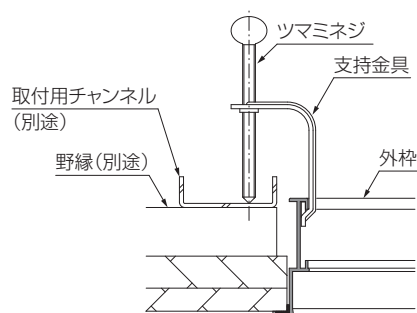


取付用チャンネル(別途)

天井材(別途)

支持金具

外枠

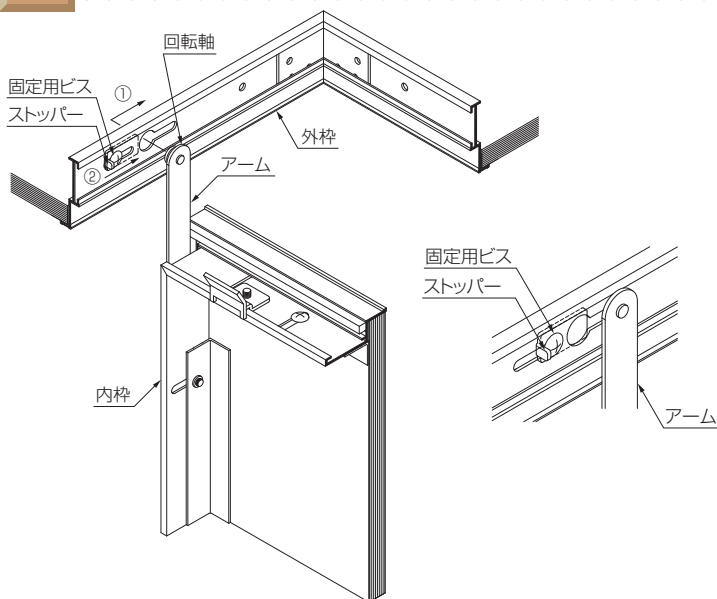


取付用チャンネル(別途)

野縁(別途)

外枠

3 内枠の脱着方法



固定用ビス
ストッパー

回転軸

外枠

アーム

内枠

固定用ビス
ストッパー

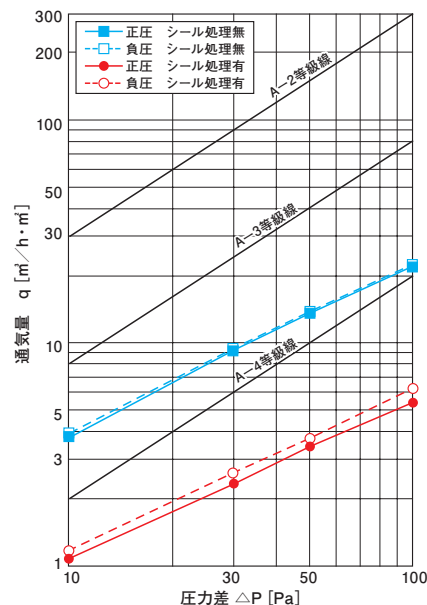
アーム

- ①アーム先端の回転軸を、外部回転軸受け孔へ取り付け。
- ②固定用ビスを緩め、ストッパーをアーム側へスライドさせ
固定用ビスを締付けてください。

気密性能

気密性能試験結果

(JIS A 1516 [建具の気密試験方法])



※当社試験値です。保証値ではありません。

天井点検口

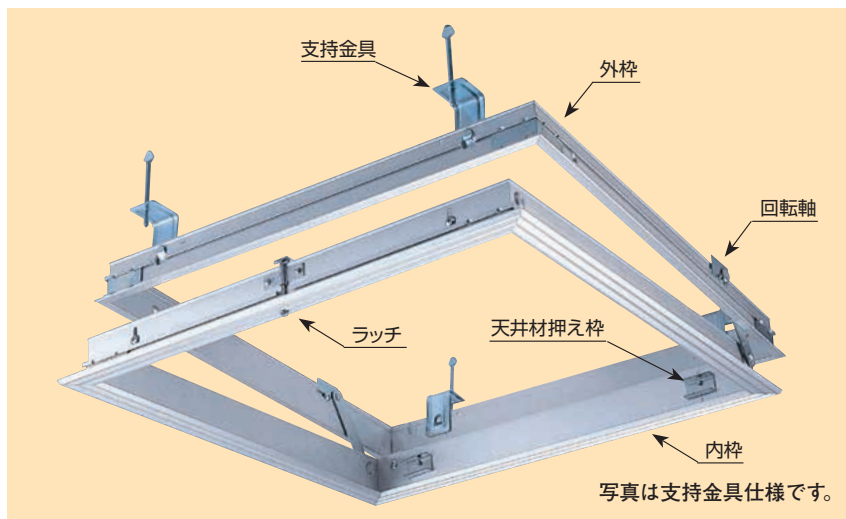
気密タイプ

CKII型

- アルミニウム製フレーム
- 密閉型フレームでチリ・ホコリをシャットアウト
- 施工が簡単な取付金具（支持金具仕様）
- 気密タイプの低価格製品

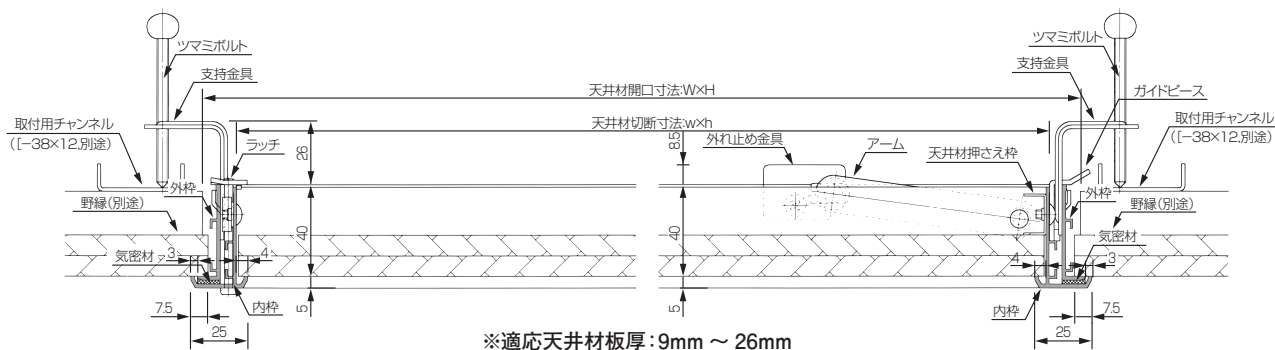
〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／焼付塗装



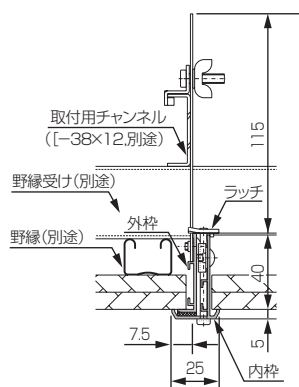
(一社) 公共建築協会 認定品

施工例

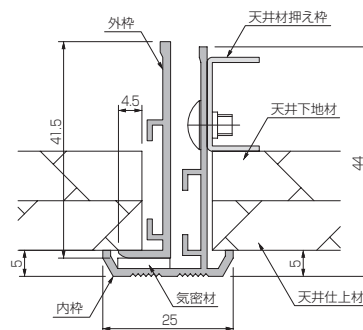


吊り金具仕様

(一社) 公共建築協会
認定品



枠材詳細図



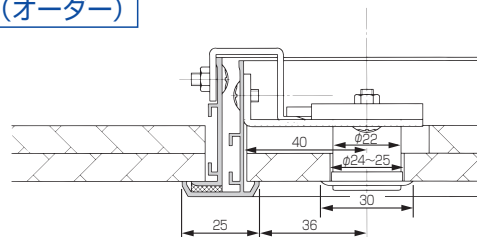
■天井材切欠寸法表 天井材切欠寸法は正確をお願いします。

記 号	天井材開口寸法	天井材切断寸法	入数 (台)
	W×H(mm)	w×h(mm)	
CKII-303	303×303	276×276	10
CKII-454	454×454	427×427	10
CKII-606	606×606	579×579	5

■部材仕様表

名 称	材 質
外枠・内枠	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
内枠コーナー金具 天井材押え枠	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
外枠コーナー金具 ラッチ・ラッチ軸受 アーム・ガイドピース	冷間圧延鋼板 SPCC
支持金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGHC
ツマミボルト	冷間圧造用炭素鋼線 SWCH 10R
気密材	EPDM 発泡体

鍵付仕様(オーダー)



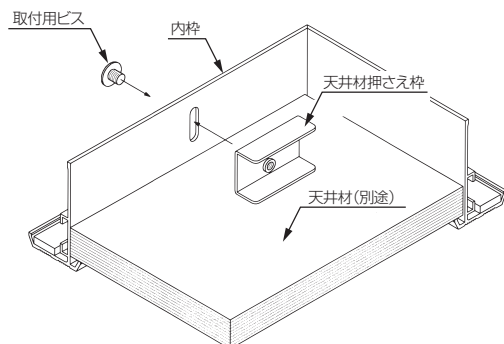
製品には全て注意シールを貼ってあります。
安全には十分注意してください。

- 屋内専用の天井点検口です。
- 規格は支持金具仕様です。吊り金具仕様は当社担当に問い合わせてください。
- 規格寸法以外・気密材無し及び鍵付仕様もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。
製作可能寸法(mm): W×H=200×250~909×909(片開きのみ)
- 重量のある天井材を使用する際には、当社担当に問い合わせてください。
- ボルトタイプ吊り金具も用意してあります。当社担当にお問い合わせください。

1 内枠に天井材をセット

〈内枠取付方法〉

- ① 天井材を所定寸法に切断し、円枠にはめこむ。(寸法表参照)
- ② 天井材押さえ枠をビス止める。(寸法表参照)

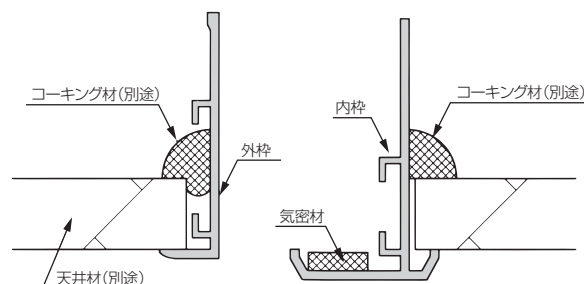


気密効果を高める方法

外・内枠の立上がり部と天井材とをコーキング材等でシールしてください。

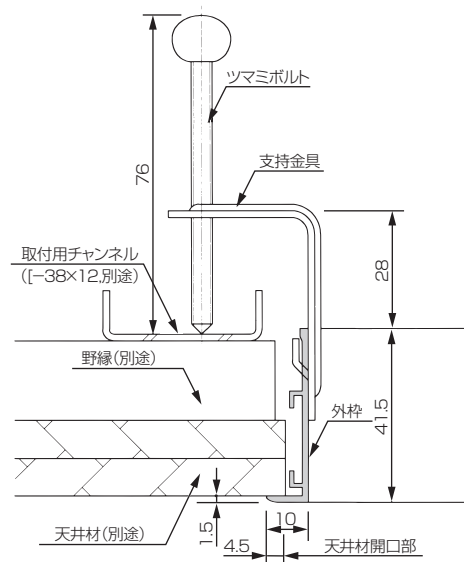
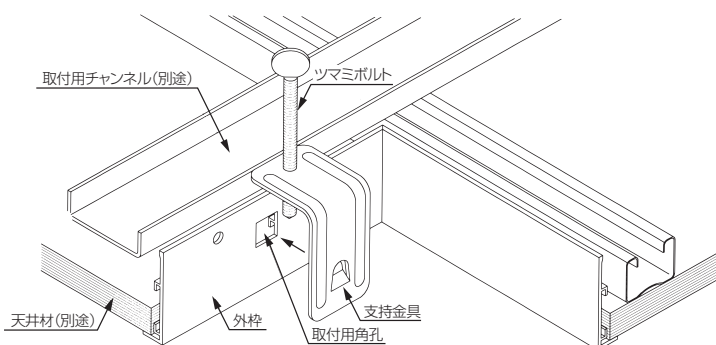
外枠側シール例

内枠側シール例



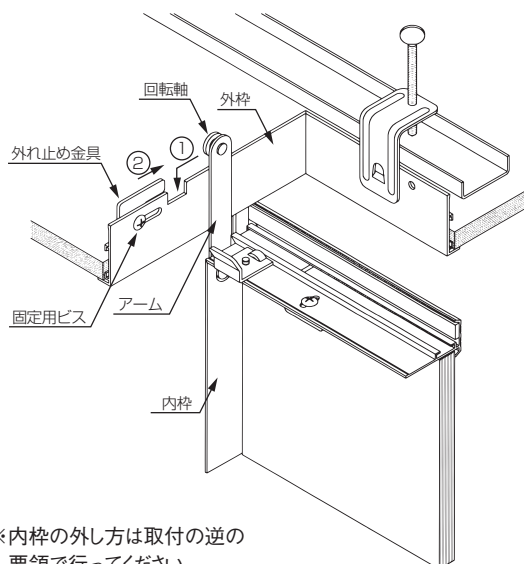
2 外枠の取付方法

天井材開口部に外枠をはめ込み、支持金具で固定する。



3 内枠の脱着方法

- ① アーム先端の回転軸を外枠の切欠部に落とし込む。
- ② 固定用ビスを弛め、外れ止め金具をアーム側へ移動し、固定用ビスを締め付けてください。

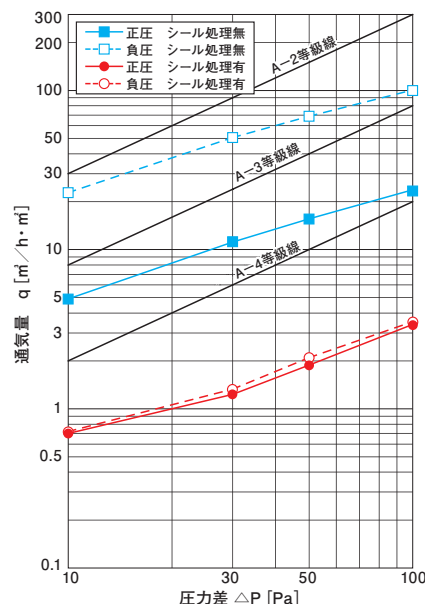


※内枠の外し方は取付の逆の要領で行ってください。

気密性能

気密性能試験結果

(JIS A 1516 [建具の気密試験方法])



※当社試験値です。保証値ではありません。

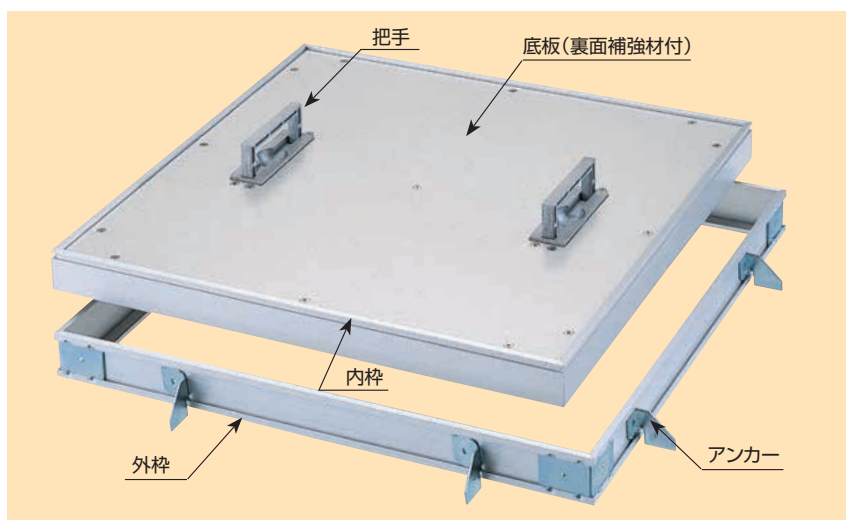
床点検口

P タイル・磁器タイルタイプ

NF 型

- アルミニウム製フレーム及び底板
- アンカー取付簡単
- 内外枠のバックインがガタ付き音を防止
- 適応範囲のワイドなPタイル・モルタル兼用タイプ

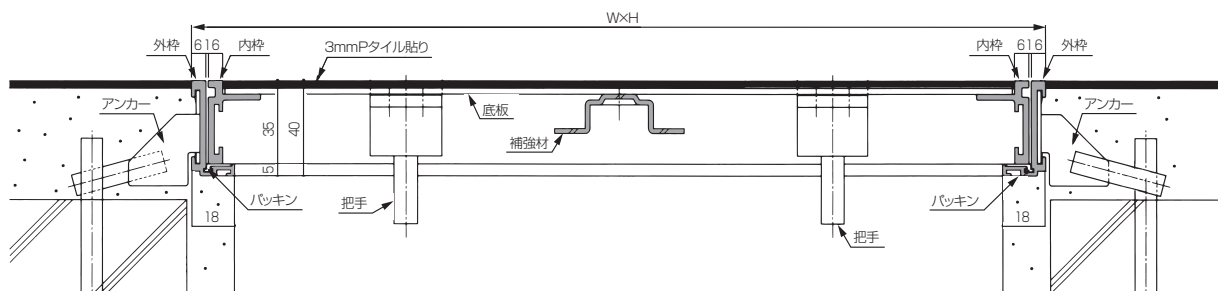
〈対応表面処理〉
アルマイトシルバー



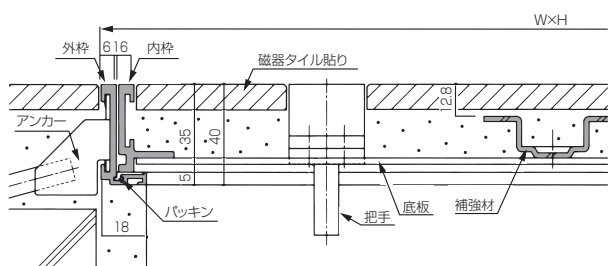
(一社) 公共建築協会 認定品

施工例

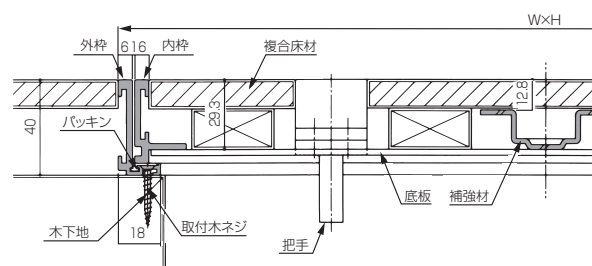
Pタイル貼り施工例



磁器タイル貼り施工例



木造納まり施工例



床点検口規格寸法表

床点検口記号	サイズ	入数 (台)
	W×H(mm)	
NF-303	303 × 303	5
NF-450	450 × 450	5
NF-600	600 × 600	3

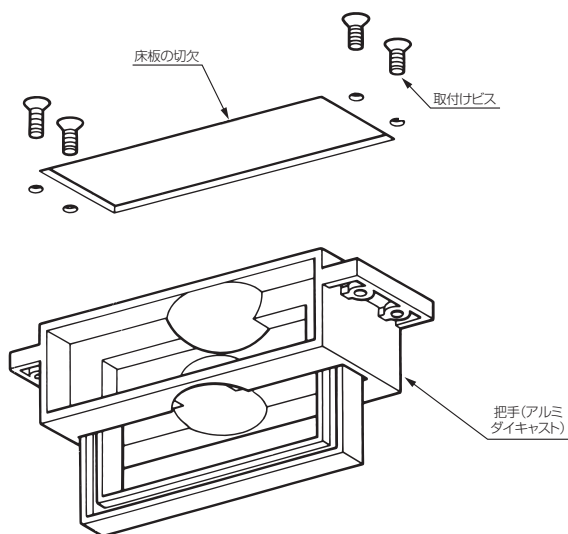
※屋内専用の床点検口です。
※鍵付もあります。(450・600 モルタルタイプのみ)
※規格外寸法は製作できません。

部材仕様表

名 称	材 質
外 枠	アルミニウム合金押出形材 6063 材
内 枠	陽極酸化塗装複合皮膜仕上
底 板	アルミニウム合金板材 5052 材
取 手	アルミニウム合金ダイカスト ADC12
コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
アンカー	冷間圧延鋼板 SPCC
補強材	溶融 Zn - Al - Mg 合金メッキ鋼板 MSM - HC - DA 90
バックイン	軟質塩化ビニール PVC

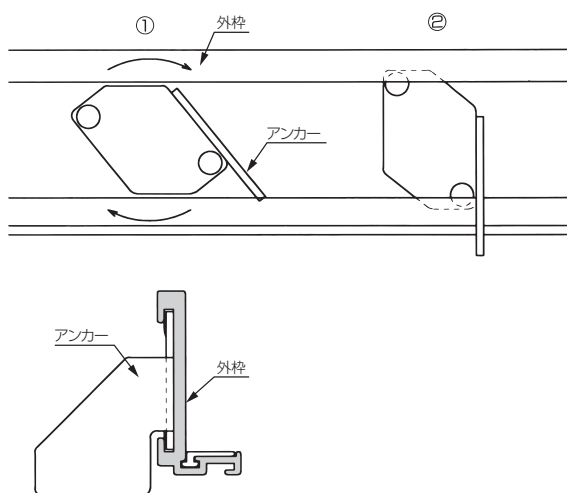
1 把手の取り付け

加工前に、底板へ把手を取り付けてください。



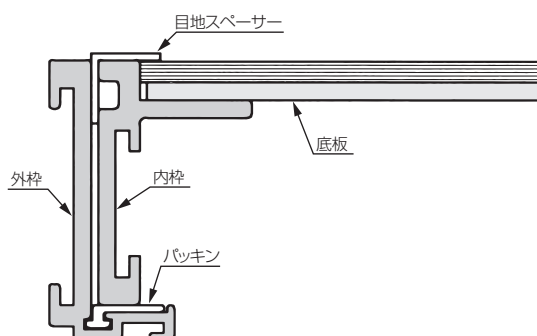
2 外枠へアンカー取り付け

アンカーを、外枠の溝にペンチ等でヒネって取り付けてください。



3 外枠の取り付け

現場で加工する際は、外枠と内枠の隙間へ、付属の目地スペーサーを差し込んだ状態で、施工してください。

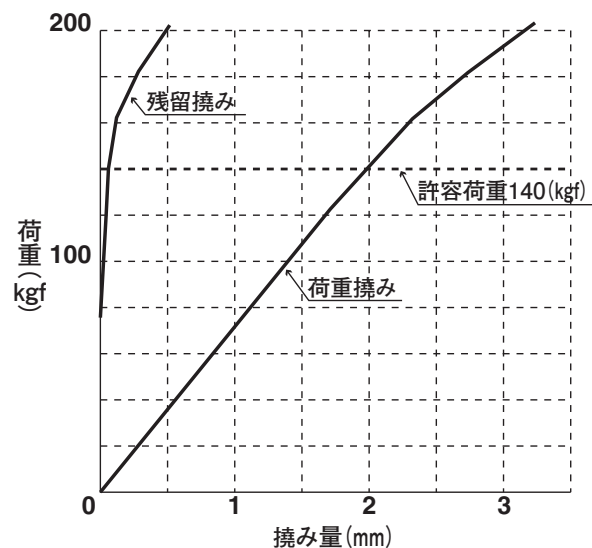


■ NF 型 許容荷重

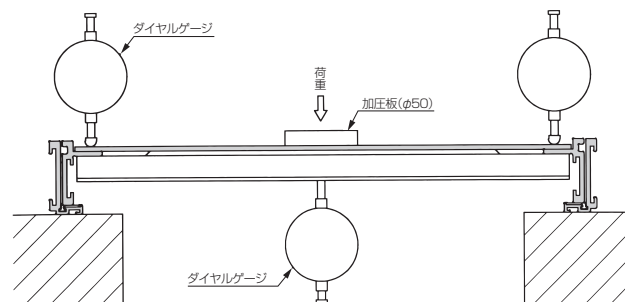
床点検口記号	P タイル用
NF-450	140kgf(1372N)
NF-600	100kgf(980N)

※当社試験値です。保証値ではありません。

NF-450 荷重試験結果



■ 試験方法



床点検口

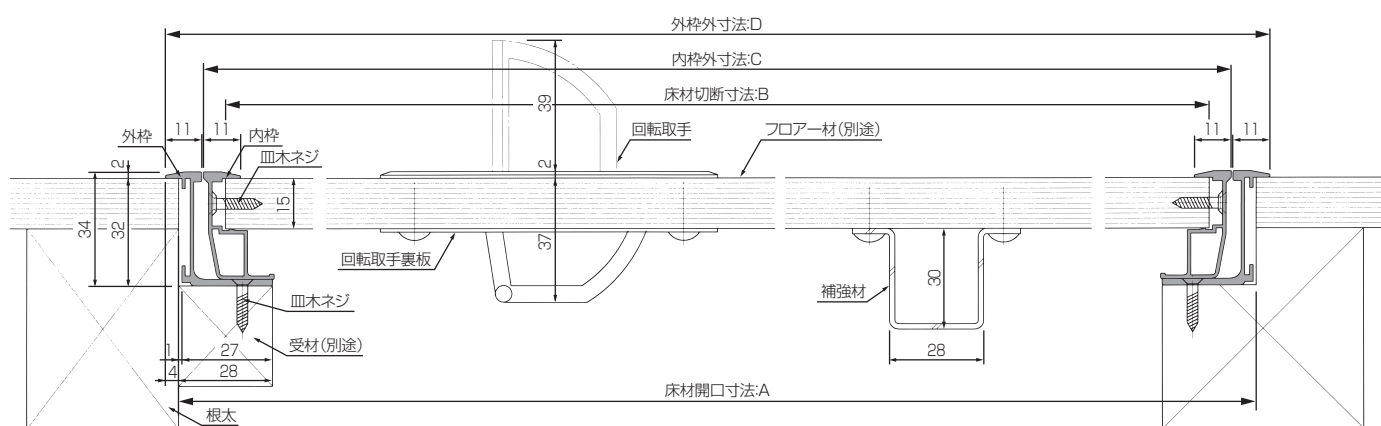
フローリングタイプ

JF 型

- アルミニウム製フレーム
木造納まり専用です



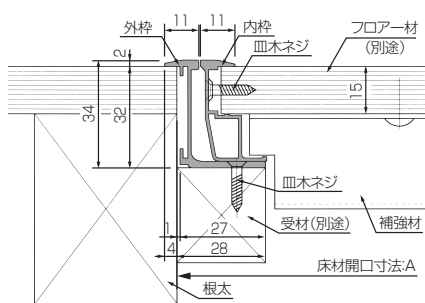
施工例



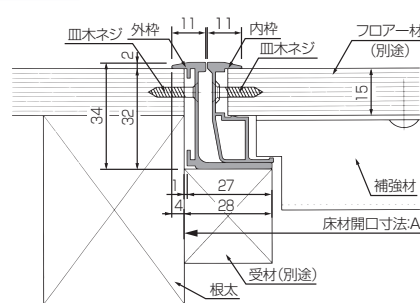
外枠取付例

(皿木ネジは縦・横兼用で使用できます。)

①縦ビス方法



②横ビス方法



※フロアー材の厚みは15mmまでです。15mm未満の床材を使用する場合は15mmになるように捨張り等で調整してください。
※安全のため、必ず受材を根太へ取り付けてください。

床点検口規格寸法表

床点検口記号	床材開口寸法 A (mm)	床材切断寸法 B (mm)	内枠外寸法 C (mm)	外枠外寸法 D (mm)	入数 (台)
JF-303 S C	303	275	288	311	5
JF-454 S C	454	426	439	462	5
JF-606 S C	606	578	591	614	5

S:シルバー C:ブロンズ

■規格寸法以外・2枚開仕様もオーダーにて製作しますので、当社担当に問い合わせてください。
製作可能寸法(mm):700×1200

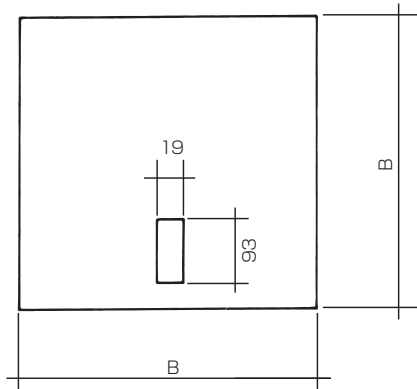
部材仕様表

名 称	材 質
外 枠	アルミニウム合金押出形材 6063 材
内 枠	陽極酸化塗装複合皮膜仕上
コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
回転取手	亜鉛合金ダイカスト ZDC2
補強材	冷間圧延鋼板 SPCC

取付方法

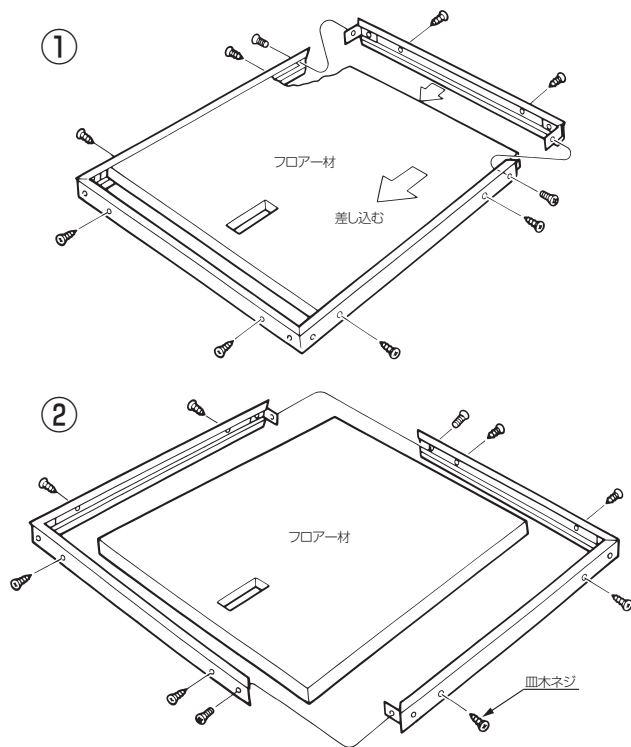
1 取手穴の加工

取手の位置は任意ですが、補強材の位置はさけてください。
フロー材の厚みは 15mm までです。15mm 未満の床材を使用する場合は、15mm になるように捨張り等で調整してください。

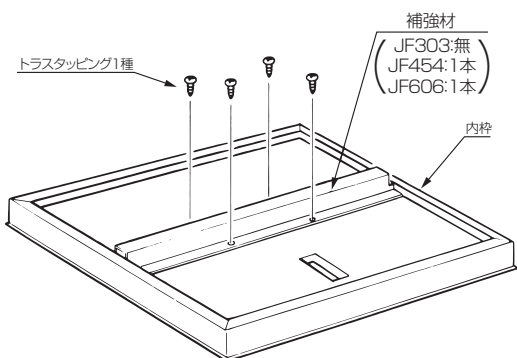


2 ふた材の固定

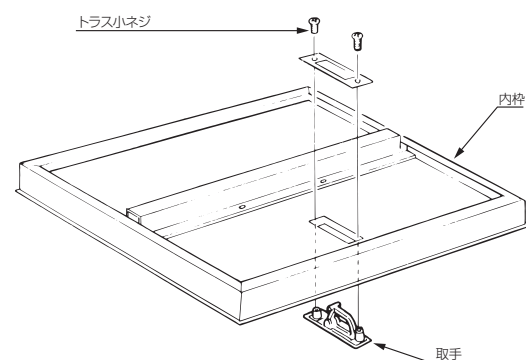
下記の①と②の 2 つの方法があります。



3 補強材取り付け

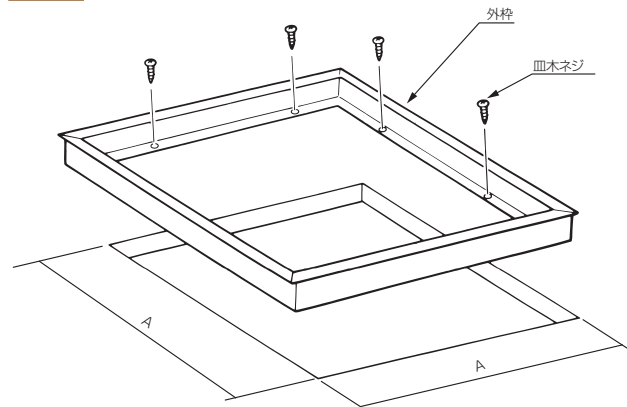


4 取手の取り付け



ふた材の取手を取り付け、内枠に入れる。

5 外枠の取り付け



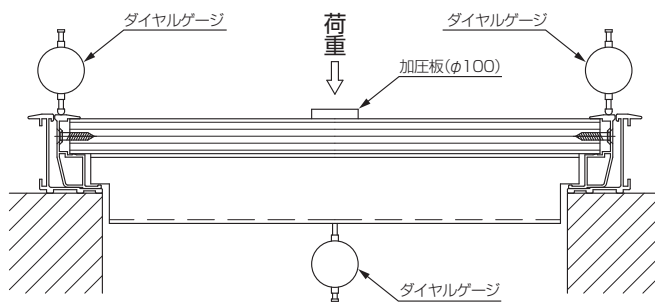
取付開口部周辺を角材で補強してください。

参考強度

床点検口記号	参考強度 kgf (N)
JF-454	80 (784)
JF-606	

※床材の材質によって強度は変化します。
※当社試験値です。保証値ではありません。

試験方法



床材には、12mm 合板+捨て張を使用

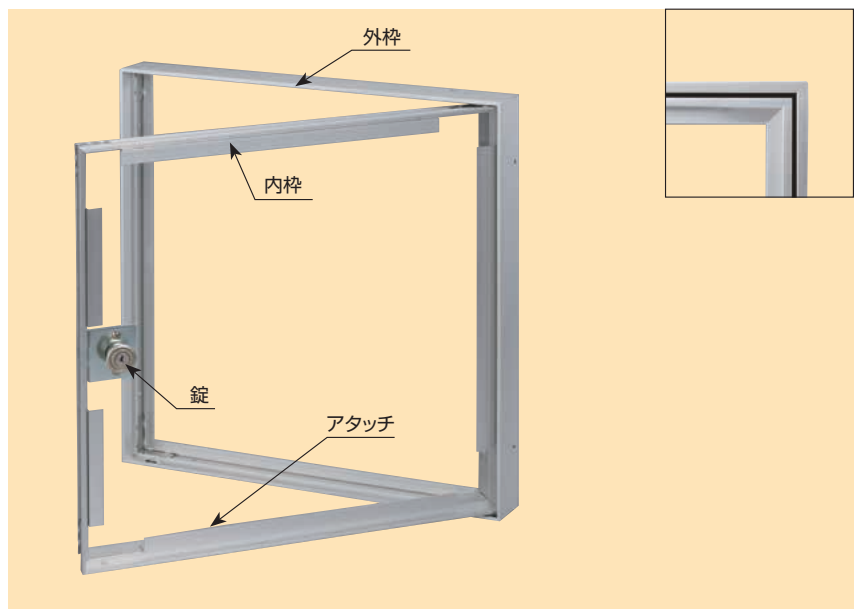
RWKM 型

目地タイプ

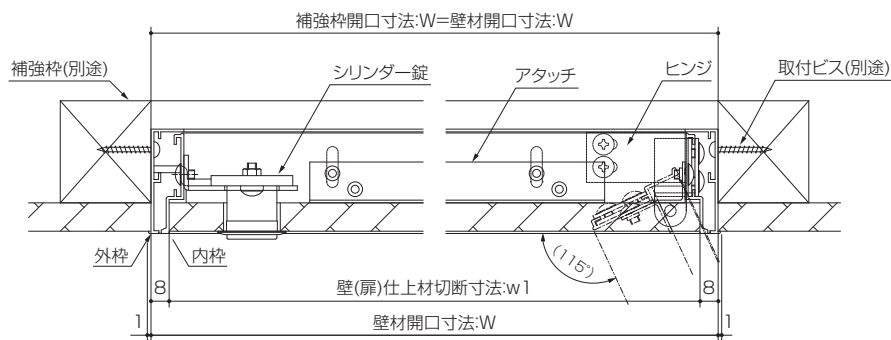
- アルミニウム製フレーム
- ヒンジを採用しスムーズな開閉
- 外観からヒンジが見えない優れたインテリア性
- 意匠性に優れた目地タイプ

〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホワイト／焼付塗装



施工例



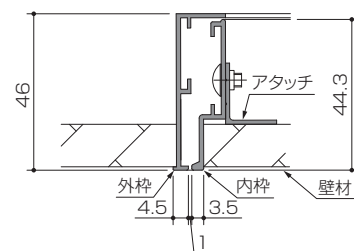
※適応壁(扉)板厚: 9~26mm (仕上材は12.5mmまで)

■壁材切欠寸法表

壁(扉)材は正確に加工してください。

呼 称	壁材開口寸法	壁(扉)材切断寸法		入数 (台)
	W×H(mm)	仕上材 w1×h1	下地材 w2×h2	
RWKM-300	300×300	284×284	269×269	5
RWKM-450	450×450	434×434	419×419	5
RWKM-600	600×600	584×584	569×569	5

枠材詳細図



■部材仕様表

名 称	材 質
外 枠 内 枠 アタッチ	アルミニウム合金押出形材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
コーナー金具 蝶番用裏板 ヒンジ 化粧リング 錠止め金	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
シリンダー錠	亜鉛合金ダイカスト ZDC
キーリング	ニッケルめっきピアノ線 SWPA

■屋内専用の壁点検口です。

■壁点検口の用途以外に使用しないでください。

■規格は鍵付タイプです。

■規格寸法以外もオーダーにて製作します。当社担当にお問い合わせください。

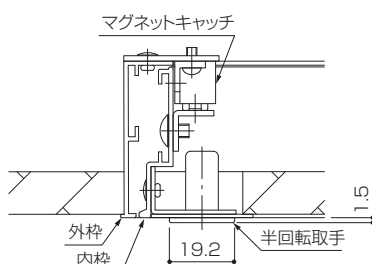
製作可能寸法(mm) W×H=200×200~600×600

〈開き勝手について〉

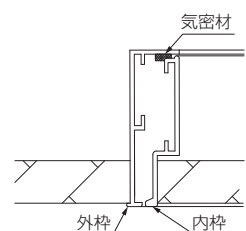
本製品は左右兼用ですが、上下に開閉させることはできません。

オーダー品

鍵無しタイプ
〈マグネットキャッチ仕様〉

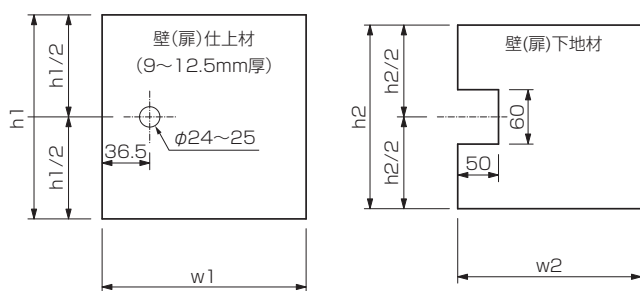


気密タイプ

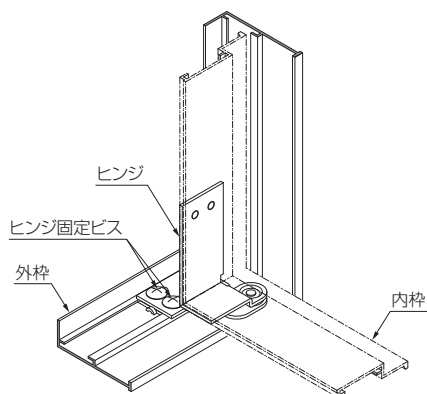


⚠ 鍵無しタイプで気密タイプの組合せは、製作できません。

壁(扉)材加工寸法



内枠の取り外し



外枠側のヒンジ固定ビスを外し、内枠を取り外してください。

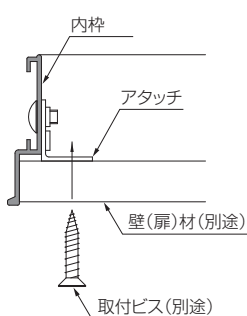
⚠ ヒンジ固定ビスを無くさないよう注意してください。

内枠への壁(扉)材取付方法

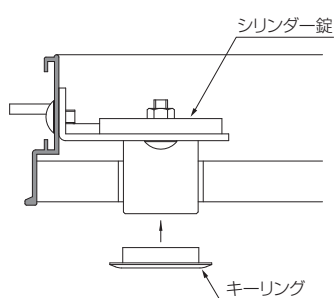


アタッチ固定ビスを緩め壁(扉)材の厚さに合わせてアタッチをスライドさせてください。

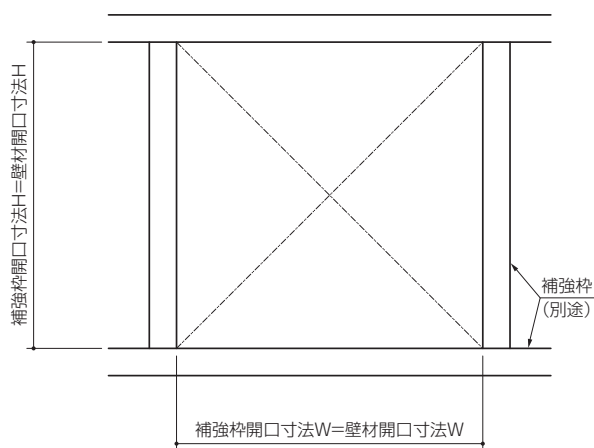
壁(扉)材の取り付け



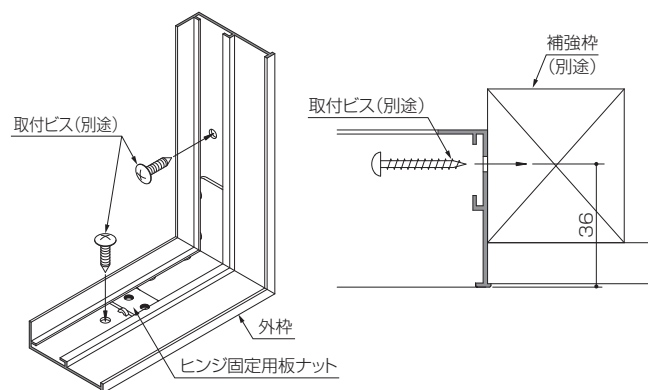
キーリングの取り付け



開口部補強例



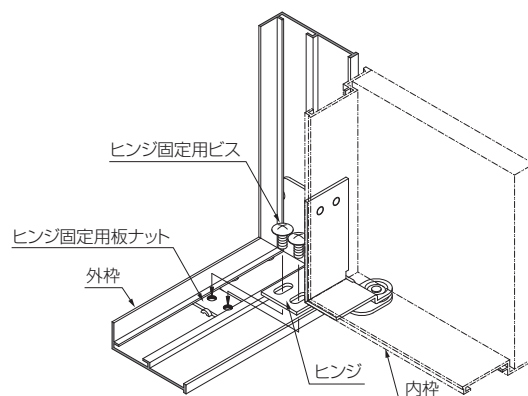
外枠の取付方法



外枠の取付用穴から補強枠(別途)に取付ビス(別途)で取り付けます。

⚠ ヒンジ固定用板ナットが上下になるよう外枠を取り付けてください。

内枠の取り付け



①内枠を取り付ける。(ヒンジ固定用板ナットへビス止める)

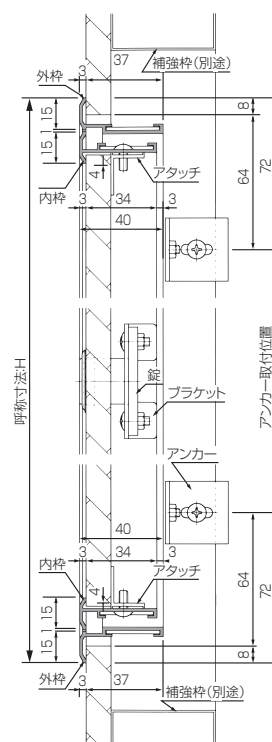
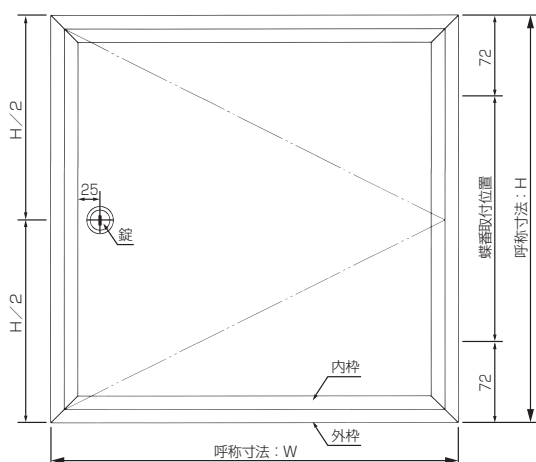
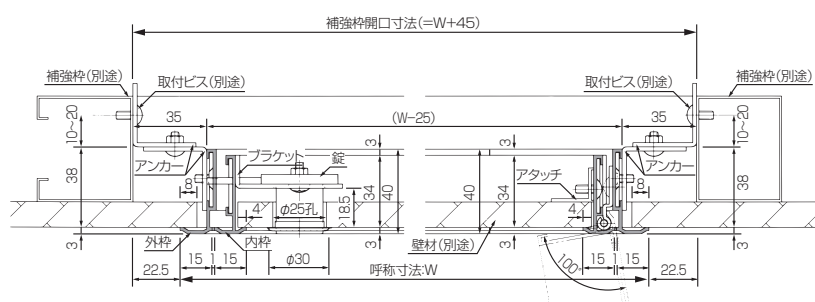
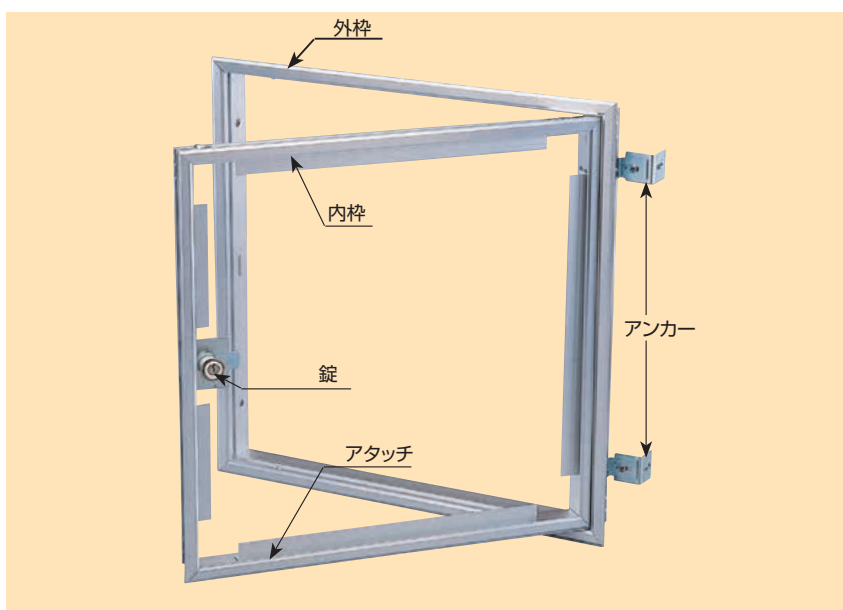
②必要に応じて扉の開閉具合・クリアランスを調整する。

RW型

- フレームは、アルミ型材を使用して軽量化を実現
- 内蝶番を使用しスムーズな開閉
- 独自の機構により、外観から金具が見えない完成度の高い仕上がりを実現
- 壁面からの出寸法を少なくし、優れたインテリア性を発揮
- 施工性重視の取り付け金具を使用

〈対応表面処理〉

アルマイトシルバー／電解着色ホホワイト／焼付塗装



■壁材切欠寸法表

記号	呼称寸法 W×H(mm)	壁材開口寸法 w1×h1(mm)	壁材切断寸法 w2×h2(mm)	入数 (台)
RW-200	200×200	184×184	146×146	5
RW-250	250×250	234×234	196×196	5
RW-300	300×300	284×284	246×246	5
RW-350	350×350	334×334	296×296	5
RW-450	450×450	434×434	396×396	5
RW-600	600×600	584×584	546×546	5

■部材仕様表

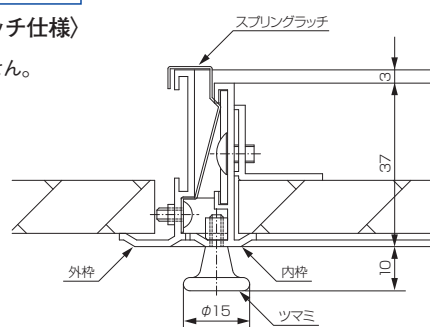
名称	材質
外枠 内枠 アタッチ	アルミニウム合金押出型材 6063 材 陽極酸化皮膜仕上
コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 SGCC
蝶番 蝶番用裏板 アンカー 錠取付ブラケット	冷間圧延鋼板 SPCC
蝶番用軸 錠用デッドボルト	一般構造用圧延鋼材 SS400
シリンダー錠	亜鉛合金ダイカスト ZDC
キーリング	ニッケルめっきピアノ線 SWPA

※壁(扉)材厚さは7.5～18.5mmです。
(19～29mmの場合は、次のページをご確認ください。)

オーダー品

〈スプリングラッチ仕様〉

※施錠はできません。



■屋内専用の壁点検口です。

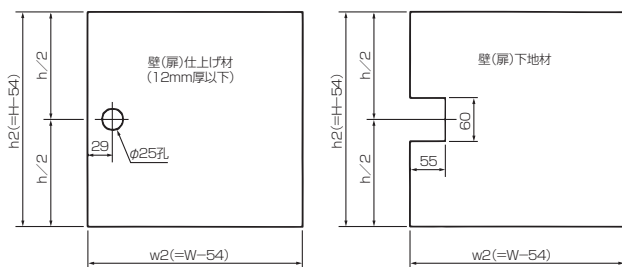
■規格寸法以外もオーダーにて製作しますので、当社担当にご相談ください。

最小(mm):W200×H200

最大(mm):W600×H900

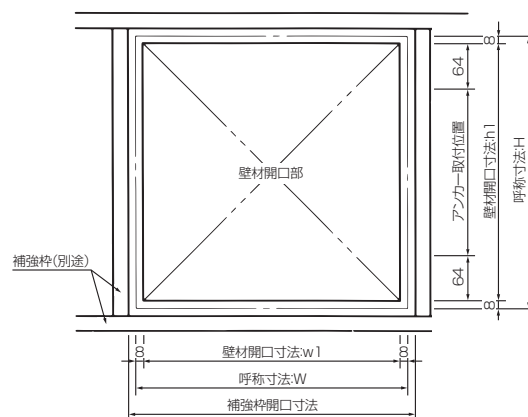
サイズが600以上の場合は、P.41を参照してください。

壁(扉)材加工寸法



呼称寸法	W	H
補強枠開口寸法	W+45	
壁材開口寸法	W-16	H-16
壁(扉)材切断寸法	W-54	H-54

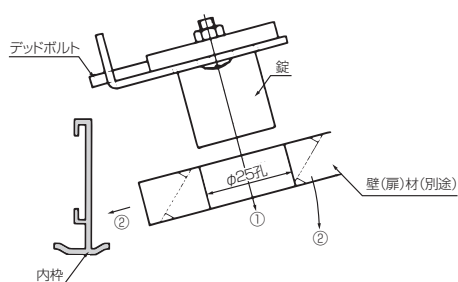
開口部補強例



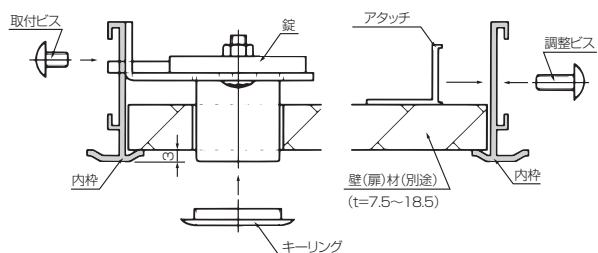
取付方法

1 扉の組立方法

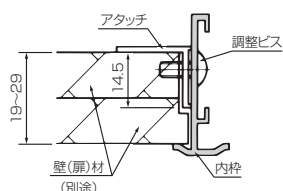
- ①錠を壁(扉)材の穴に差し込む。
- ②デッドボルト先端を内枠の角孔に通しながら、壁(扉)材を内枠へ落とし込む。



- ③錠・アタッチをビス止めする。

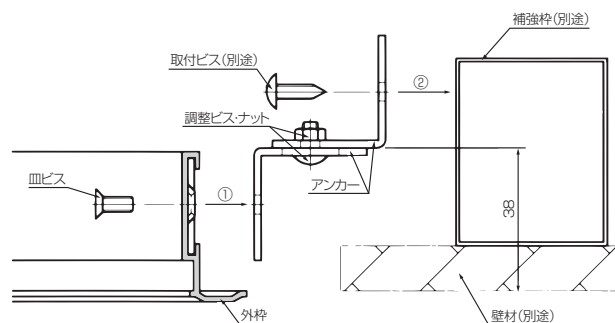


※壁(扉)材厚さが19~29mmの場合、アタッチを反転し取り付ける。



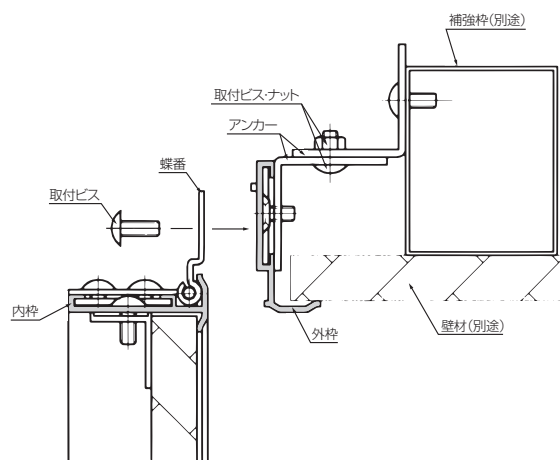
2 外枠の取付方法

- ①外枠へアンカーをビス止めする。
- ②補強枠にアンカーを仮止めする。



3 扉の取付方法

- ①内枠を外枠に取り付ける。



- ②仮止めしたビスを緩め、扉の開閉具合・クリアランスを調整し、ビスやナットを締め直す。

表面仕上げ

1. 電解着色ホワイト対象製品

額縁タイプ:RP型・RA型・RLG型
目地タイプ:RM型・RME型
額目地タイプ:RSG型・RSⅢ型
気密タイプ:CKⅡ型・CKM型・CKGM型
壁点検口:RW型・RWKM型

陽極酸化塗装複合皮膜

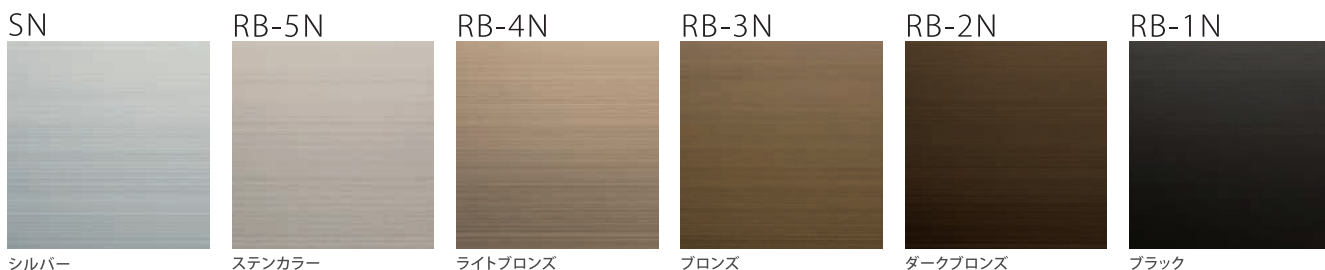


2. アルマイトカラー対象製品

額縁タイプ:RC型・RA型

Color variation

エレカラー® [陽極酸化塗装複合皮膜]



- 印刷物のため実際の色とは異なります。カラーサンプル帳をご用意しておりますので、最寄りの営業所にご請求ください。
- アルマイト仕上げはツヤ消しクリアーとなります。●仕上げの種類や色により価格が異なります。

優れた耐候性 [陽極酸化塗装複合皮膜 A1種相当]

RIKENのアルマイト艶消しクリアー製品は陽極酸化皮膜の上に、電着塗装（艶消しクリアー）が施されているため、紫外線、風、酸性雨等の自然条件に対する耐候性が優れています。（使用条件や環境により本来の性能が確保できない場合がありますので、定期的な清掃をお願いします。）

色調豊かなカラー

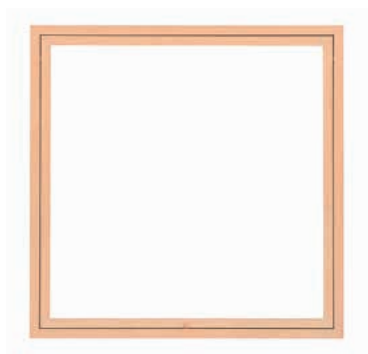
二次電解による着色法は、淡色から黒色と幅広い色調が可能です。

3. 焼付塗装対象製品（アクリル樹脂・ウレタン樹脂・フッ素樹脂）

天井点検口・壁点検口

4. 木目調対象製品（アクリル樹脂焼付塗装）

額縁タイプ:RP型

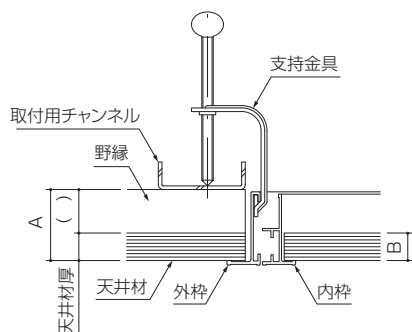


技術資料

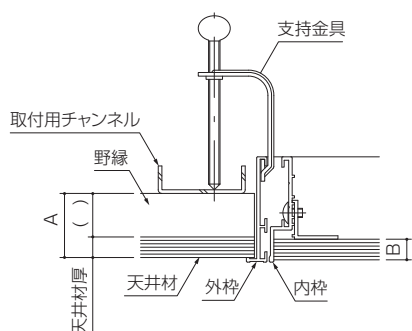
取付金具別 適応天井材厚

支持金具仕様

RP型

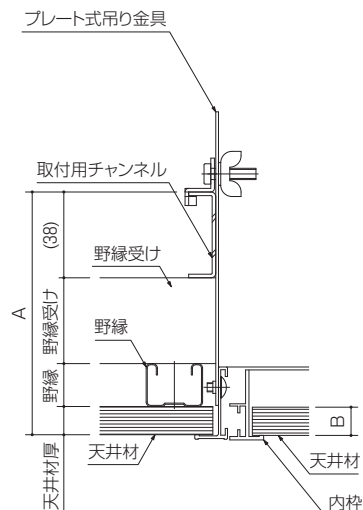


RSG型

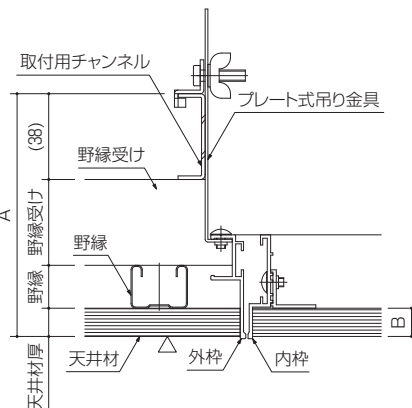


プレート式吊り金具仕様

RP型

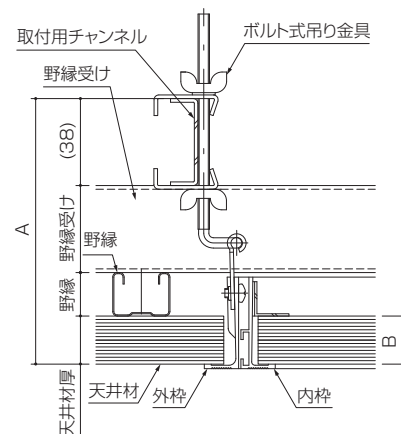


RM型

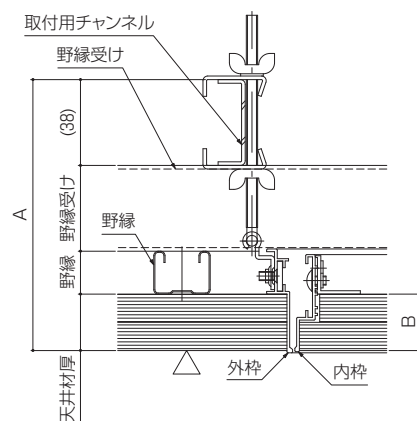


ボルト式吊り金具仕様

RC型



RME型



製品別適応寸法表

(mm)

製品型	内枠側天井材厚		支持金具	プレート式吊り金具	ボルト式吊り金具
	仕上材	B	A	A	A
RP-303・454	3~26	3~26	3.5~50	68~107.5	
RP-606			12~59	78~118	
RC・RA	~25	~25	3.5~50	72~134	95~130
RSⅢ	9~12.5	9~26	5~50	77.5~119	100~128
RSG		9~25	20~65	82~132	100~135
RM				83~120	
RME				83~129	
REX				84~125(REX専用)	
RLG	3~12.5	3~26	3.5~50	76~126	
CKⅡ	9~26		5~52	78~130	106~136
CKM	9~12.5	9~26		82~125	
CKGM			17.5~64.5		

※B寸法は、仕上材+下地材

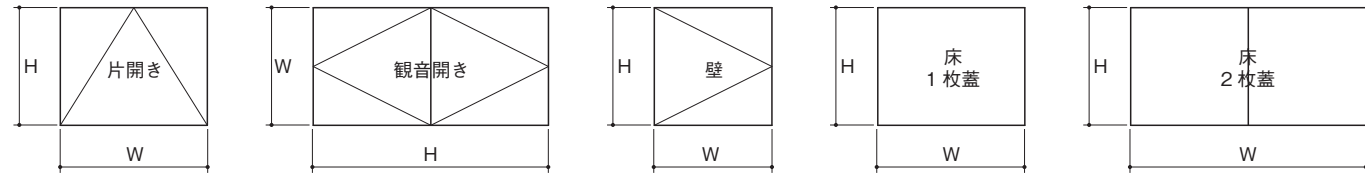
規格外点検口

特寸製作可能寸法

※下記寸法は(天井)天井材開口寸法
(床) 床材開口寸法
(壁) 外枠外寸法
(mm)

床点検口NF型を除く全製品(天井・床・壁)において、特寸サイズの製作が可能です。

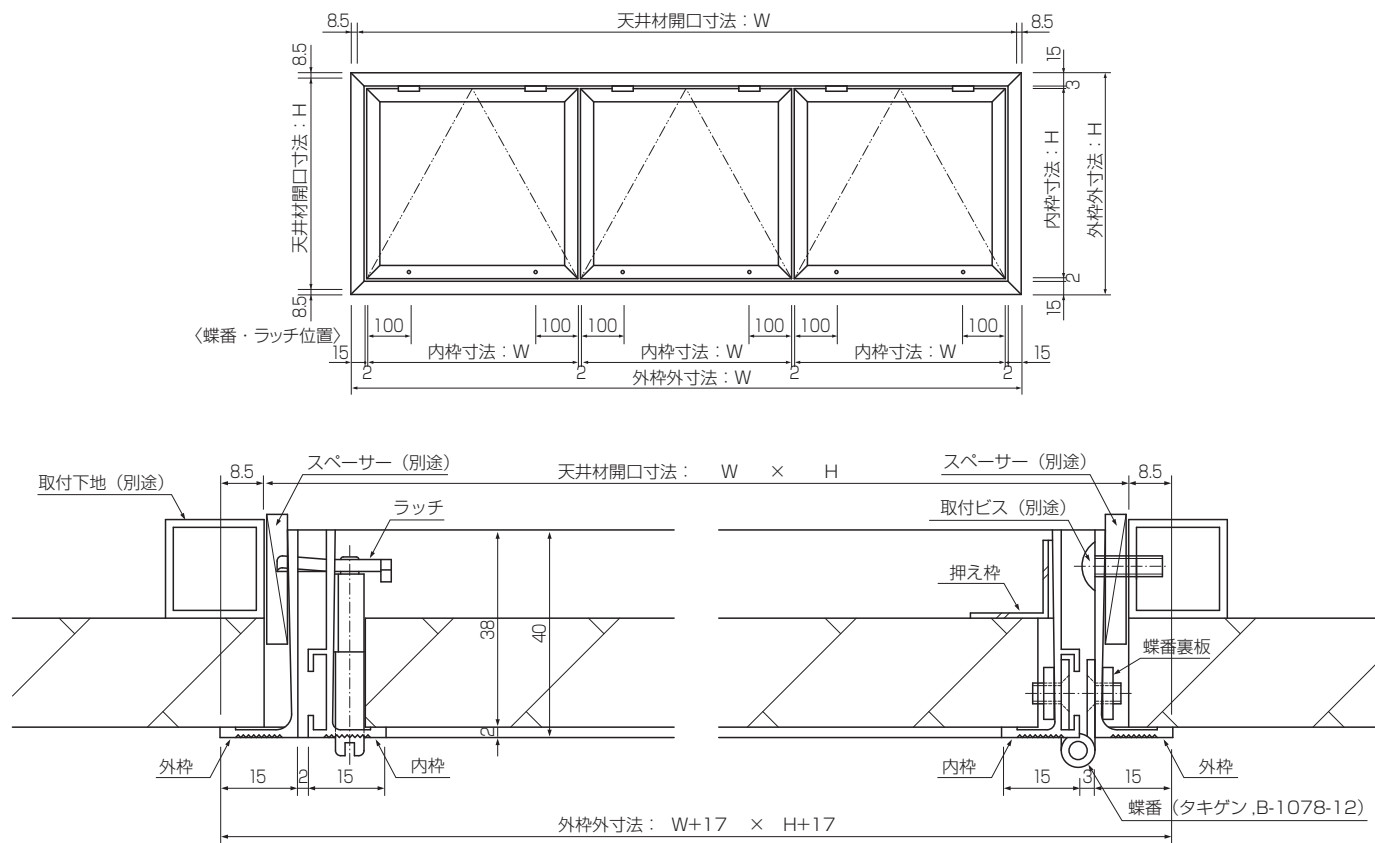
		製品名	最小寸法		最大寸法		取付金具
			W	H	W	H	
天井	額縁	RA 及び RC 片開き	200	200	909	909	吊り金具
		RA 観音	200	450	909	909	吊り金具
		RC 観音			1000	1200	
		RP 片開き (枠材高 32mm)	150	150	454	454	支持金具
		RP 片開き (枠材高 40mm)	300	300	909	909	支持金具
							吊り金具
	RLG 片開き	200	250	606	606	支持金具	
	額目地	RS Ⅲ片開き	200	200	606	606	支持金具
		RSG 片開き	200	250	909	909	支持金具
							吊り金具
	気密	CK Ⅱ片開き	200	250	909	909	支持金具
		CKM及び CKGM片開き					吊り金具
	目地	RM 片開き	200	250	909	909	吊り金具
		RM 観音	200	500	1000	1200	
		RME 片開き	200	200	606	606	
		REX 片開き	300	600	1000	1000	
		REX 観音	300	600	1000	1800	
壁	RW 片開き	200	200	600	900	/	
		P.44 を参照してください。					
	RWKM 型片開き	200	200	600	600	/	
床	JF 1 枚蓋	180	180	1200	700	/	
	JF 2 枚蓋	700	180	1200	700	/	
	NF	製作できません				/	



- 天井点検口については、鍵付仕様も対応可能です。
- 天井点検口片開きの場合、Wが650mm以上はラッチが2ヶ所になります。
- 取付金具が支持金具の物は、吊り金具へ変更可能。(W又はHが606mmを超える場合は吊り金具となります。)
- 天井点検口において、次の製品については観音開き仕様の製作はできません。
【RLG型・RP型・RSG型・RSⅢ型・CKⅡ型・CKM型・CKGM型・RME型】

蝶番仕様

観音開き仕様では対応できない長尺点検口の場合、RC型をベースに回転軸を蝶番に変更して対応。



1. 対象製品: RC型

2. 製作可能寸法

- ① 天井材開口寸法: H=最小200mm~最大900mm
- ② 外枠外寸法: W=3600mmを超える場合、外枠を分割して対応。
- ③ 内枠寸法Wを最大700mmとして内枠を分割。

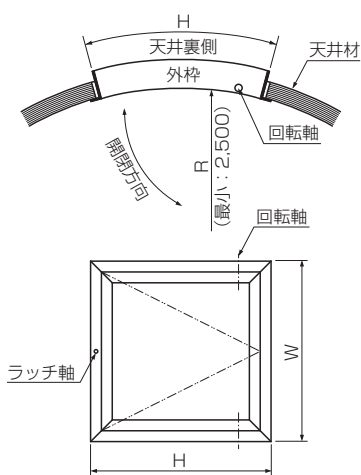
3. 注意事項

外枠の曲がりを防ぐため、取付方法は下地への直付けのみとなります。

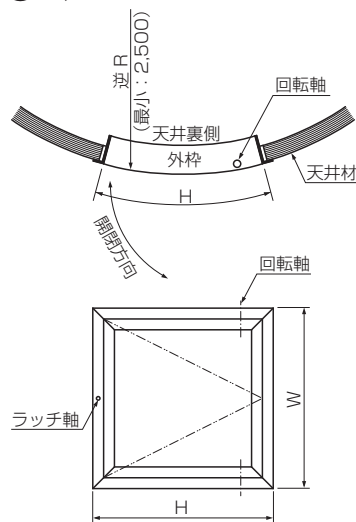
R曲げ加工

〈ボルト式吊金具仕様専用〉

①: R



②: 逆R



1. 対象製品: RA型・RC型

2. 片開きのみ製作可能

3. 製作可能最小半径

天井材開口寸法

■ H=303~453: R3,500

内枠-外枠クリアランス: 3mm

■ H=454以上: R2,500

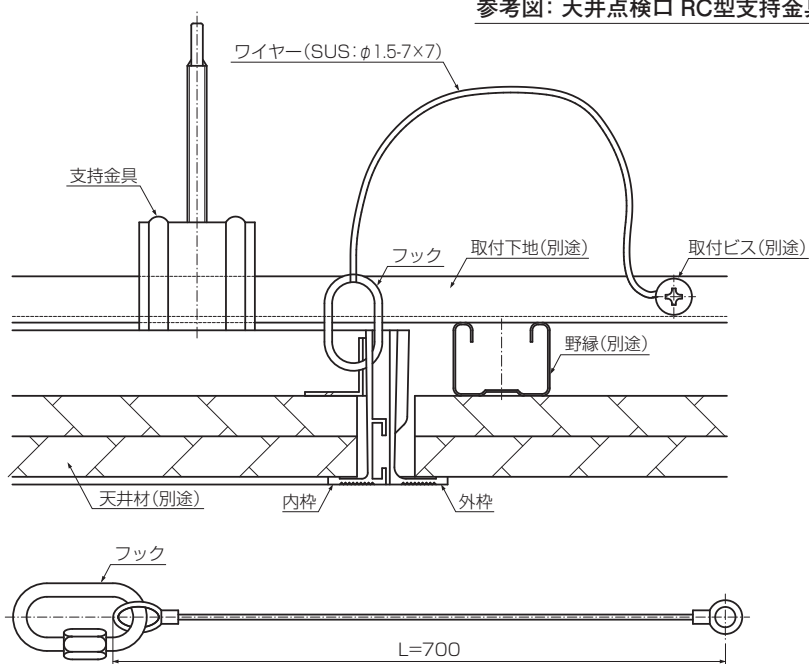
内枠-外枠クリアランス: 2mm

4. 最大半径: R20,000

規格外点検口

内枠落下防止ワイヤー

参考図：天井点検口 RC型支持金具仕様

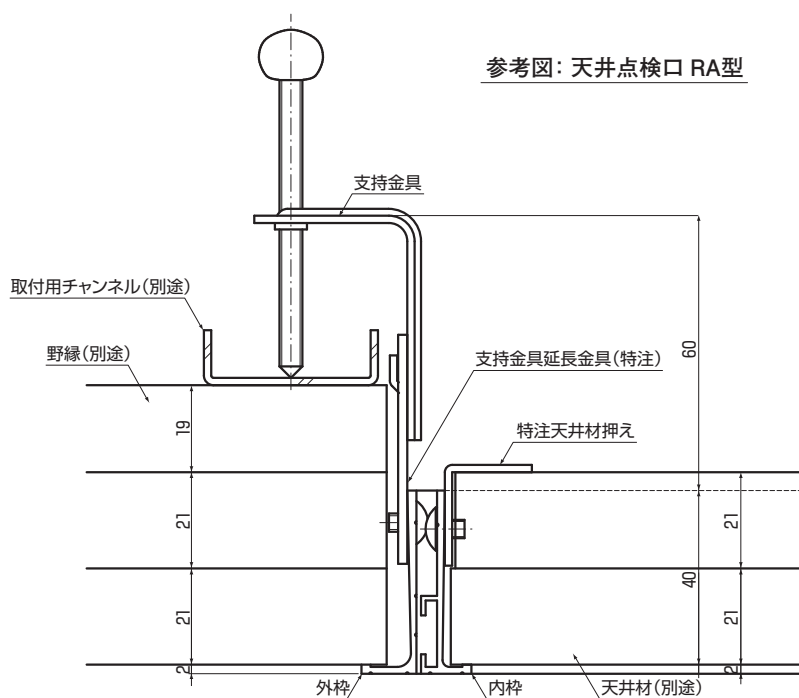


- 1.対象製品:全製品
※天井点検口REX型には標準装備
- 2.ワイヤー仕様:ステンレス製 φ1.5-7×7
- 3.使用数:内枠1枚あたり2本

天井材が厚い場合の対応

規格品で使用する天井材の厚さは、最大25mm（12.5mm×2枚）を想定していますが、添付されている天井材押え枠及び支持金具（吊り金具）では対応できない厚さの天井材を使用する場合、天井材押え枠及び支持金具（吊り金具）延長金具を別途製作して対応。

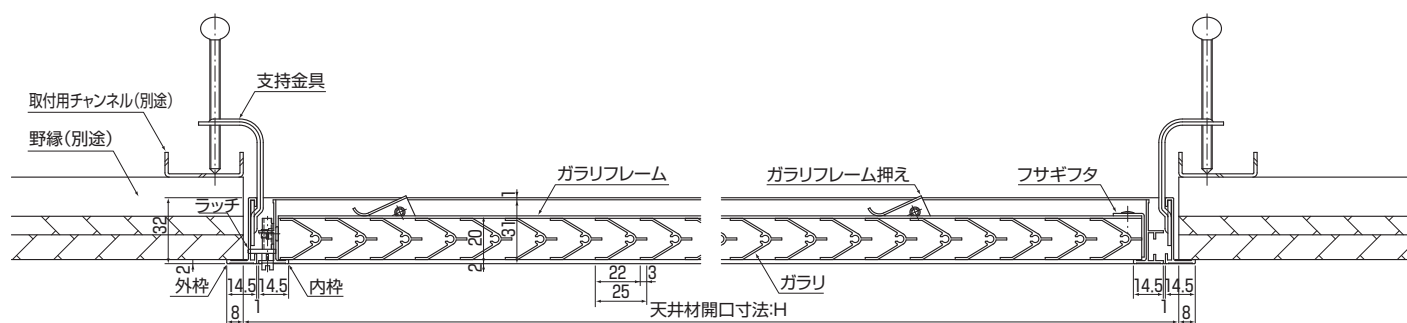
参考図：天井点検口 RA型



- 1.対象製品: RSⅢ型・RC型・RA型・RP型・CKⅡ型
- 2.適用金具:支持金具及び吊り金具

※ RP 型支持金具仕様は支持金具の変更が必要なため、延長金具単体での発注にはご注意ください。

ガラリ仕様



1.対象製品:額縁タイプ(RC型・RA型・RP型)

2.規格ガラリピッチ:22mm及び30mm

3.特寸への対応

- ①点検口サイズは、P.40寸法表に準じます。
- ②点検口サイズに合わせてガラリの製作が可能。
- ③規格ガラリピッチ以外の製作が可能。(ピッチ又は開口率をご指示ください。)

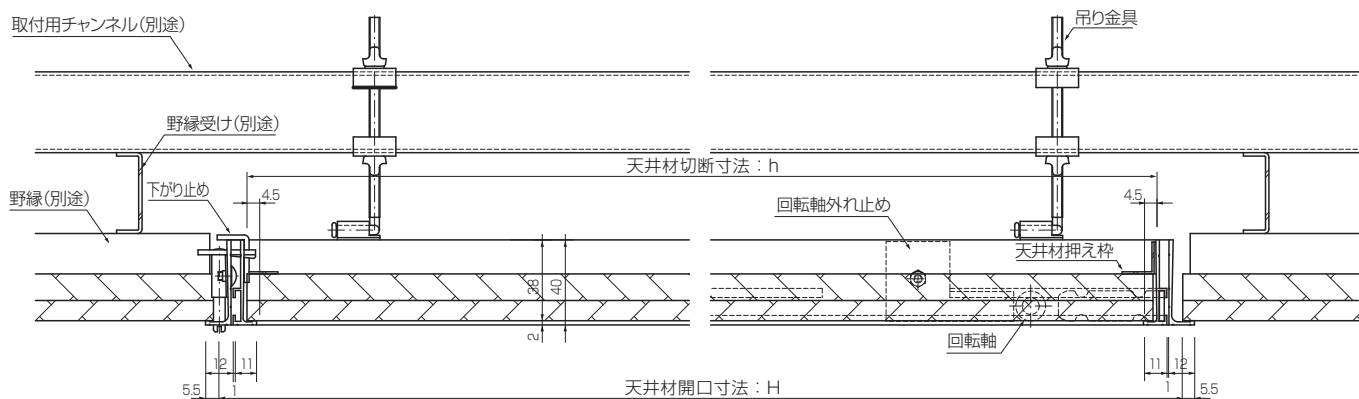
4.注意事項

屋内用の製品です。屋外での使用はしないでください。

空調設備の吸込・吹出口等で大型サイズのガラリを使用する場合、音鳴りの可能性があります。

※規格外については、担当者へお問い合わせください。

上開き仕様



天井裏から開閉したい場合や通常の開閉が出来ない等、天井裏側に内枠を開けたい場合に使用。

天井裏から開閉したい場合に必要なツマミ付も製作出来ます。

1.対象製品:RC型・RA型 ※鍵付対応可(RA型は片開きのみ)

2.特寸への対応:P.40寸法表に準じます。

3.注意事項

取付金具は、ボルト式吊り金具のみとなります。

その他特注仕様

1.ラッチ2ヶ所仕様

天井点検口の全製品。

※点検口サイズが小さい場合、対応できない場合がありますので、お問い合わせください。

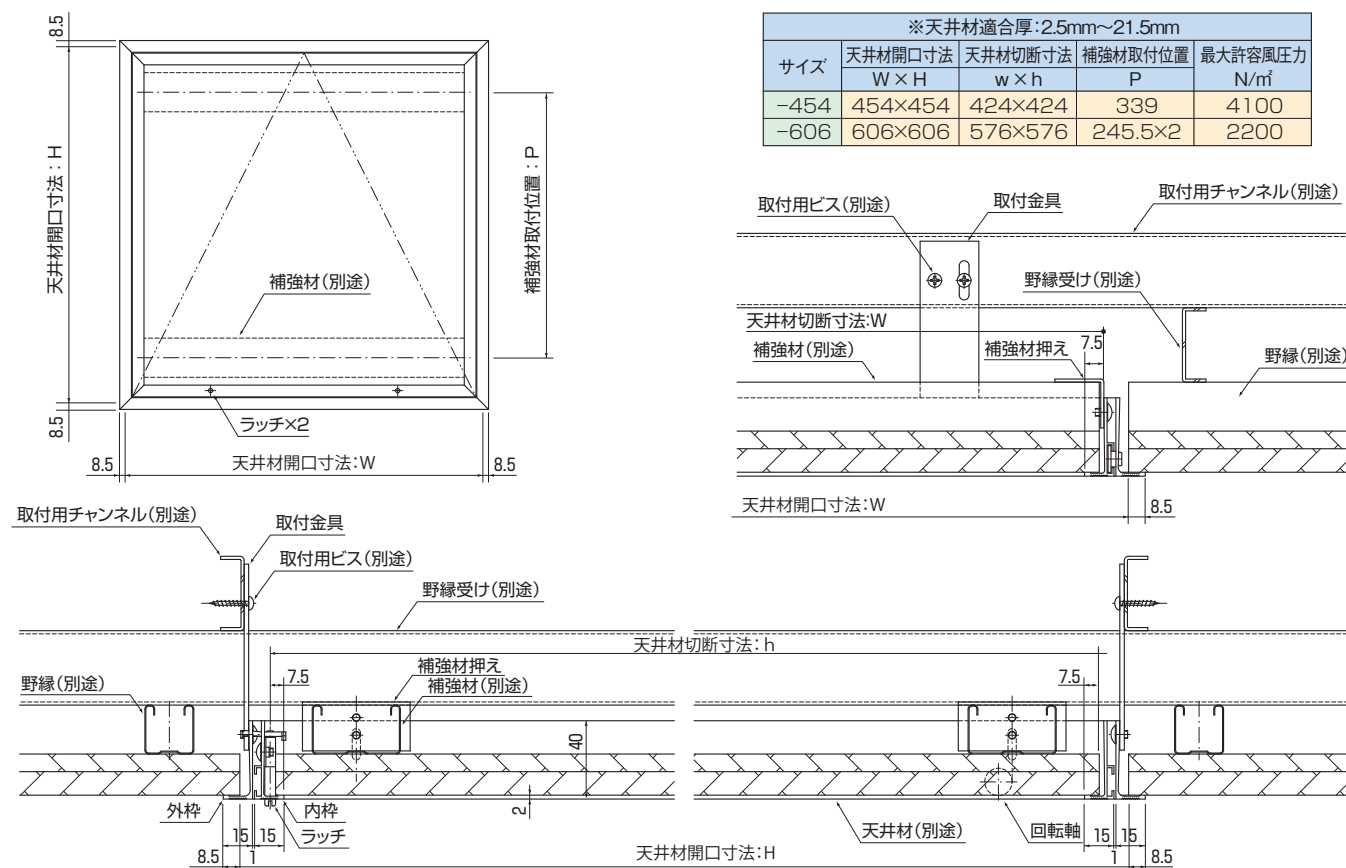
2.その他

本製品集にない特注品については、担当者にお問い合わせください。

規格外点検口

軒天仕様

対象製品:RC型 ※鍵付対応可



1. 表面仕上げ:陽極酸化塗装複合皮膜(アルマイト艶消しクリアー)

2. 製品仕様(規格品との違い)

- ①専用取付金具を使用してビスで固定。又は、下地へ直付け。
- ②内枠天井材は、補強材(野縁等)を使用して固定。
※補強材は、別途用意してください。
- ③ラッチ2ヶ所。

3. 最大許容風圧力

荷重試験より算出した最大許容風圧力

RC-454 : 4, 100N/m²

RC-606 : 2, 200N/m²

※荷重試験は、点検口本体の強度を確認するために行ったものです。

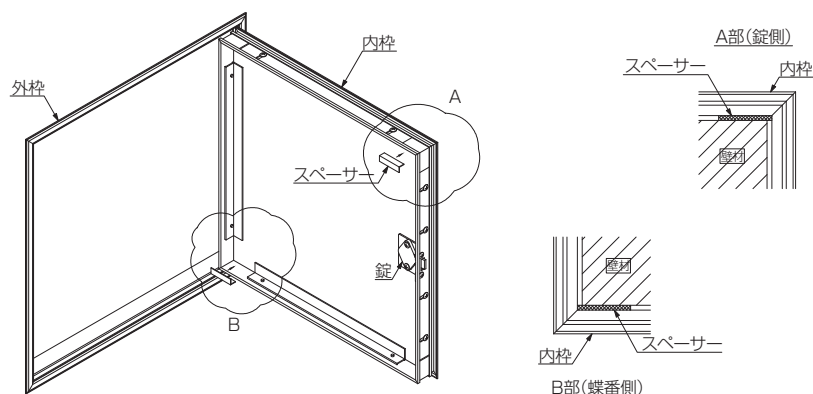
4. 注意事項

- ①使用部位の風圧力を必ず確認し、上記3の数値を超える場合は使用しないでください。
- ②標準の吊り金具及び支持金具は絶対に使用しないでください。

※本カタログ内に記された材質及び表面処理等は、JIS(日本産業規格)に基づくものとする。

壁点検口RW型 大型サイズ

内枠と壁材との間にクリアランスがあるため、内枠を開いた時内枠が下がってしまうことがあります。その場合、製品に添付されているスペーサーを使用して修正することが出来ます。



1. 最大製作可能寸法

W=600×H=900(外枠外寸法)

2. 注意事項

規格サイズ以上の内枠壁材質量は7.5kgまでです。

内枠裏側より、A及びB部の内枠と壁材の隙間へスペーサーを入れてください。

日本産業規格

● JIS H 4100 2022（抜粋） アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材

1. 適用範囲

この規格は、押出加工したアルミニウム及びアルミニウム合金の型材（以下、型材という。）について規定する。この規格は、JIS H 4040及びJIS H 4080に規定する断面形状と異なるもの全てに適用する。ただし、断面形状が四角形、長方形及び六角形の場合は、角の半径が指定されている形状に適用する。

4. 合金番号、等級及び記号

合金番号、等級及び記号は、表1による。等級は、寸法の許容差によって、普通級と特殊級とに分類する。

表1－合金番号、等級及び記号（抜粋）

合金番号	等級及び記号		特性及び用途例（参考）
	普通級	特殊級	
6063	A6063S	A6063SS	代表的な押出用合金。6061より強度は低いが、押出性に優れ、複雑な断面形状の型材が得られ、耐食性及び表面処理性もよい。サッシなどの建築用材、土木用材、家具、家電製品、車両用材など。

5. 品質

5.1 外観 型材は、表面仕上げが良好・均一で、使用上有害な膨れ、きずなどの欠陥があってはならない。表面欠陥の除去は滑らかに仕上げなければならない。

5.2 化学成分 型材の化学成分は、7.1によって試験を行い、表2による。

表2－化学成分（抜粋）

単位：%

合金番号	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	V, Zr, Ni, B など	Ti	その他 ^{a)}		Al
										個々	合計	
6063	0.20～0.6	0.35以下	0.10以下	0.10以下	0.45～0.9	0.10以下	0.10以下	—	0.10以下	0.05以下	0.15以下	残部

注a) その他の元素とは、この表で示されていないが存在の予知される場合又は通常の分析過程において、規定の値を超えるおそれがある場合に、製造業者の判断によって分析する元素である。“個々”の値は、表で示されている元素以外の個々の成分値であり、“合計”の値は、個々の成分値を合計したものである。

5.3 機械的性質 型材の機械的性質（引張強さ、耐力、伸び及び硬さ）は、7.2及び7.3によって試験を行い、表3及び表4による。なお、表3及び表4に規定する試験箇所の断面形状の肉厚（以下、肉厚という。）及び断面積以外の寸法の機械的性質は、受渡当事者間の協定による。

表4－合金番号6063の機械的性質（抜粋）

合金番号	質別 ^{a)}	引張強度					硬さ試験	
		試験箇所の肉厚 mm	引張強さ N/mm ²	耐力 N/mm ²	伸び% ^{b)}		試験箇所の肉厚 mm	HV5
					A _{50mm}	A		
6063	T5 ^{c)}	12以下	150以上	110以上	8以上	7以上	0.8以上	58以上

注記 1N/mm² = 1MPa

注a) 識別はJIS H 0001による。

注b) 伸びの測定は、標点距離の異なる次の二つの方法のいずれかを採用する。特に、注文者からの指定がない場合は、A_{50mm}による。ただし、A_{50mm}の規定がない場合は、Aによる。

A_{50mm}：50mm標点距離における伸び

A：5.65/√S₀の標点距離における伸び[S₀：試験片の平行部の断面積（mm²）]

注d) 質別T5の機械的性質は、引張試験又は硬さ試験のいずれかによる。

● JIS H 8601 1999（抜粋） アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜

1. 適用範囲

この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜（以下、皮膜という。）に関する全般的な規格であり、品質及び試験方法を規定する。ただし、この規格は、次のものを除く。

- a) バリヤー皮膜
- b) 塗装又はめっきの下地皮膜
- c) JIS H 8603に規定する硬質陽極酸化皮膜

3. 定義

この規格で用いる主な用語の定義は、JIS H 0201による。

6. 特性及び品質

6.1 外観及び色

6.1.1 外観

皮膜の外観は、有効面上に、きず、表面上のむら、粉ふきなどの用途上有害な欠陥がないものとする。外観の品質は、必要に応じて受渡当事者間で合意した標準見本又は限度見本によって行ってもよい。

6.1.2 色とその許容範囲

色とその許容範囲は、受渡当事者間の協定によって取り決める。色とその許容範囲の品質は、必要に応じて受渡当事者間で合意した標準見本又は限度見本によって行ってもよい。

6.2 皮膜厚さ

6.2.1 皮膜厚さの等級

皮膜厚さは、平均皮膜厚さ（ μm ）によって表し、表2に適合しなければならない。なお、皮膜厚さの等級は、製品の用途及び使用環境などを考慮して選択するが、受渡当事者間で特別な協定がない限り、表2による。

表2—皮膜厚さの等級

等級	AA3	AA5	AA6	AA10	AA15	AA20	AA25
平均皮膜厚さ（ μm ）	3.0以上	5.0以上	6.0以上	10以上	15以上	20以上	25以上

備考 定められた平均皮膜厚さの80%に満たない測定点皮膜厚さがあってはならない。

6.2.2 皮膜厚さの等級と主な用途例

皮膜厚さの等級は、製品の用途及び使用環境を考慮して選択するが、受渡当事者間で特別な協定がない限り、表3による。なお、用途によって特別な皮膜厚さが要求される場合は、表2に規定する平均皮膜厚さの等級にない平均皮膜厚さを決めてもよい。

表3—皮膜厚さの等級と主な用途例

皮膜厚さの等級	主な用途例
AA3	反射板、家電部品（内部）など
AA5 AA6 AA10	台所用品、日用品、家電部品、装飾品、家具部材、車両内装、建築部材（屋内）など
AA15 AA20 AA25	台所用品、車両外装、土木・建築部材（屋外）、船舶用品など

備考 用途上必要な場合は、受渡当事者間の協定によって平均皮膜厚さの等級によらず、最低皮膜厚さを取り決めてもよい。

● JIS H 8602 2010（抜粋） アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜

1. 適用範囲

この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金の展伸材の素地の防食、美観などを目的として施す陽極酸化塗装複合皮膜（以下、複合皮膜という。）について規定する。

3. 用語及び定義

3.1 陽極酸化塗装複合皮膜

アルミニウム及びアルミニウム合金に平均皮膜厚さ $5\mu\text{m}$ 以上の陽極酸化処理を施した後、塗装を施すことによって陽極酸化皮膜の性能に塗膜の性能を付加して、耐食性、耐候性、装飾性などの品質を更に向上させた皮膜。

注記 主として塗膜の付着性を向上させるための下地処理として平均皮膜厚さ $5\mu\text{m}$ 未満の薄い陽極酸化皮膜を施し、その上に塗装を施したものは、複合皮膜には含まれない。

4. 種類

複合皮膜の種類は、複合耐食性及び耐候性によって区分し、表1の4種類とする。なお、種類は、複合耐食性及び耐候性の両方の性能を満足しなければならない。

表1—陽極酸化塗装複合皮膜の種類

種類	複合耐食性		耐候性 ^{a)}		参考
	複合耐食性試験 ^{b)}		キセノンランプ式 促進耐候性試験	サンシャイン カーボンアーク灯式 促進耐候性試験	適用環境
	紫外線蛍光ランプ式促進耐候性試験	キャス試験			
	試験時間h				
A1	240	120	4000	3000	過酷な環境で、かつ、 紫外線露光量の多い地域の屋外
A2	240	120	2000	1500	過酷な環境の屋外
B	240	72	1000	750	一般的な環境の屋外
C	－	－	350	250	屋内

注記1 JIS H 8602:1992で規定している種類との比較を附属書Cに示す。

注記2 適用環境において、“過酷な環境”とは、腐食・劣化の激しい地域で海浜及び沿岸をいい、“一般的な環境”とは、工業地域、都市地域及び田園地域をいう。

海浜とは、海岸線から300m以内の地域（飛来する海塩粒子の影響が最も激しい地域）をいう。

沿岸とは、海岸線から300mを超えて2km以内の地域（飛来する海塩粒子の影響が比較的大きい地域。ただし、南西諸島の島は、海岸線から2kmを超えても、すべてこの区分に入れる。）をいう。工業地域とは、生産活動に伴って、大気汚染物質〔硫黄酸化物（SOx）、窒素酸化物（NOx）、降下ばいじんなど〕を発生する地域をいう。都市地域とは、商業及び生活活動に伴って大気汚染物質を発生する地域をいう。

田園地域とは、大気汚染物質の影響が少ない地域をいう。

紫外線露光量の多い地域とは、亜熱帯海洋性気候に類似した地域をいう。

注a) 耐候性は、キセノンランプ式促進耐候性試験又はサンシャインカーボンアーク灯式促進耐候性試験のいずれかの試験を行う。

b) 複合耐食性試験は、紫外線蛍光ランプ式促進耐候性試験を行った後、キャス試験を実施する。

5. 品質

- 5.1 外観** 外観は6.3によって試験を行い、きず、むら、はがれなどの使用する上で問題となる欠点があってはならない。なお、使用する上で問題となる欠点の判断は、受渡当事者間の協定による。欠点の程度は、限度見本によって示すのが望ましい。
- 5.2 性能** 複合皮膜の性能は、箇条6によって試験を行い、表2による。

表2—陽極酸化塗装複合皮膜の性能

項目		種類	性能				試験方法	
			A1	A2	B	C		
陽極酸化皮膜の厚さ (平均皮膜厚さ) ^{a)} μm			5以上、かつ、各測定点皮膜厚さが、すべて平均皮膜厚さの80%以上でなくてはならない。				6.4	
キヤス耐食性		試験時間h		120		72	24	6.5
		レイティングナンバRN		9.5以上				
皮膜の 付着性	基盤目試験		25/25				6.61	
	沸騰水 基盤目試験	沸騰 水試験	試験時間h		5		6.6.2	
		外観		塗膜にしわ、割れ、ふくれ及び著しい変色が生じてはならない。				
		沸騰水試験後基盤目試験		25/25				
塗膜の耐溶剤性			試験前後の塗膜の鉛筆硬度の低下は、JIS K5600-5-4の6.2に規定する硬度スケールで1単位以下でなければならない。				6.7	
耐アルカリ性		試験時間h		24		8	6.8	
		レイティングナンバRN		9.5以上				
複合 耐食性	紫外線蛍光ランプ 促進耐候性試験		試験時間h		240		—	6.9
	キヤス試験		試験時間h		120	72	—	
促進 耐候性	レイティングナンバRN		9以上			—	6.10	
	キセノンランプ式 促進耐候性試験	試験時間h		4000	2000	1000		350
		外観		著しい変退色及び著しいチョーキングが生じてはならない。				
		光沢保持率%		75以上				
	サンシャイン カーボンアーク灯式 促進耐候性試験	試験時間h		3000	1500	750		250
		外観		著しい変退色及び著しいチョーキングが生じてはならない。				
光沢保持率%		75以上						

注a) 陽極酸化皮膜厚さを測定するときに、複合皮膜の厚さも測定しておくことよい。
なお、測定方法は、6.4による。

● JIS G 3507-2 2005 (抜粋) 冷間圧造用炭素鋼—第2部：線

1. 適用範囲

この規格は、ボルト、ナット、リベット、小ねじ、タッピンねじなどのねじ類及び各種部品を冷間圧造によって製造する場合に使用する冷間圧造用炭素鋼線（以下、線という。）について規定する。

3. 種類の記号

線は、リムド相当鋼6種類、アルミキルド鋼11種類及びキルド鋼21種類とし、その記号は、表1による。

表1—種類の記号（抜粋）

種類の記号 ⁽¹⁾	加工方法 ⁽³⁾	備考
SWCH10R	D工程：D	リムド相当鋼 ⁽²⁾
SWCH12A	DA工程：DA	アルミキルド鋼

注(1) 線の種類の記号は、適用する線材JIS G 3507-1の種類の記号の3文字目のRを削除したものとする。

線材 線

例 SWRCH6R SWCH6R

注(2) リムド鋼を含む

注(3) D工程は、線材を冷間加工によって仕上げることをいう。DA工程は、線材を冷間加工後、焼鈍を行い、更に冷間加工によって仕上げるか、又は線材を焼鈍後、冷間加工によって仕上げることをいう。

6. 機械的性質

線は、10.2の試験を行い、その引張強さ及び絞り率は、D工程の場合は表2、DA工程の場合は表3による。ただし、D工程及びDA工程以外の工程による場合は、受渡当事者間の協定による。

表2—D工程による線の機械的性質（抜粋）

種類の記号	線径区分 mm	引張強さ N/mm ²	絞り %	(参考) 硬さ HRB
SWCH10R	4を超え5以下	390以上	45以上	—
	5を超えるもの	340以上		85以上
SWCH12A	4を超え5以下	410以上	45以上	—
	5を超えるもの	360以上		90以上

● JIS G 3302 2022（抜粋） 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯

1. 適用範囲

この規格は、溶融亜鉛めっき鋼板（以下、板という。）、溶融亜鉛めっき鋼帯（以下、コイルという。）及び板をJIS G 3316に規定する形状及び寸法に加工した波板（以下、波板という。）について規定する。

4. 種類の記号、及び適用する表示厚さ

種類の記号及び適用する表示厚さは、次による。

表2—種類の記号及び適用する表示厚さ（冷延原板の場合、抜粋）

種類の記号	適用する表示厚さmm	用途(参考)
SGCC	0.19以上 3.2以下	一般用

5. 化学成分

板、コイル及び波板の原板の化学成分は、14.1によって試験を行い、その溶鋼分析値は、表4による。

表4—化学成分

単位：%

種類の記号	C	Mn	P	S
SGCC	0.15以下	0.80以下	0.05以下	0.05以下

6. めっき

6.3 めっきの付着量

6.3.1 めっきの付着量表示記号

めっきの付着量表示記号は、次による。

a) めっきは、両面等厚めっきとし、めっきの付着量表示記号は、表6による。

b) 波板に適用するめっきの付着量表示記号は、表JA.2による。

c) 屋根用及び建築外板用に適用するめっきの付着量表示記号は、表JB.2による。

表6—めっきの付着量（両面の合計）

単位：g/m²

めっき区分	めっきの付着量表示記号	3点平均最小付着量	1点最小付着量
非合金化めっき	Z12	120	102

6.3.5 めっきの密着性

めっきの密着性は、次による。

a) 非合金化めっきの板及びコイルのめっき密着性は、14.3の試験を行い、表8及び表9によって、試験片の外側表面（試験片の幅の両端からそれぞれ7mm以上内側の部分）にめっき剥離を生じさせてはならない。

表9—めっき密着性及び曲げ性（冷延原板の場合）

種類の記号	曲げ角度	内側間隔枚								
		表示厚さ 0.19mm以上 1.6mm未満			表示厚さ 1.6mm以上 3.0mm未満			表示厚さ 3.0mm以上 3.2mm未満		
		めっきの付着量表示記号			めっきの付着量表示記号			めっきの付着量表示記号		
		Z06, Z27	Z35, Z37	Z45, Z60	Z06, Z27	Z35, Z37	Z45, Z60	Z06, Z27	Z35, Z37	Z45, Z60
SGCC	180°	1	1	2	1	2	2	2	2	2

● JIS G 3141 2021（抜粋） 冷間圧延鋼板及び鋼帯

1. 適用範囲

この規格は、幅30 mm以上の冷間圧延鋼板（以下、鋼板という。）及び冷間圧延鋼帯（以下、鋼帯という。）について規定する。鋼板及び鋼帯には、みがき帯鋼（幅600 mm未満で冷間圧延する鋼帯）及びみがき帯鋼からせん断した鋼板を含む。

4. 種類の記号

鋼板及び鋼帯の種類は、5種類とし、種類の記号及び適用厚さは、表1による。

表1—陽極酸化塗装複合皮膜の種類

種類の記号	適用厚さmm	用途(参考)
SPCC	0.10～6.0	一般用

5. 化学成分

調質記号A及びSの鋼板及び鋼帯は、11.1によって試験を行い、その溶鋼分析値は、表4による。

表4—化学成分

単位：%

種類の記号	C	Mn	P	S
SPCC	0.15以下	1.00以下	0.100以下	0.035以下

6. 機械的性質

6.1 調質記号A及びSの鋼板及び鋼帯の場合

調質記号A及びSの鋼板及び鋼帯は、11.2によって試験を行い、その引張強さ及び伸びは、表5による。

表5—引張強さ及び伸び

種類の記号	引張強さ N/mm ²	伸び%								
		厚さmm								
		0.10以上 0.20未満	0.20以上 0.25未満	0.25以上 0.30未満	0.30以上 0.40未満	0.40以上 0.60未満	0.60以上 1.0未満	1.0以上 1.6未満	1.6以上 2.5未満	2.5以上 6.0未満
SPCC ^{c)}	規定しない	規定しない								

注c) 受渡当事者間の協定によって、SPCCTと表示する場合は、附属書JAによる。

● JIS H 8610 1999（抜粋） 電気亜鉛めっき

1. 適用範囲

この規格は、鉄及び鋼素地上に防食の目的で行った有効面の電気亜鉛めっき（以下、めっきという。）について規定する。

4. 等級、記号及び使用環境

4.1 等級及び記号

- a) 等級 めっきの等級は、表1のとおりとし、めっきの最小厚さによって6等級に分ける。
b) 記号 めっきの記号は、JIS H 0404による。

4.2 使用環境、使用環境条件及び記号

使用環境、使用環境条件及び記号は、JIS H 0404による。

参考 防食の目的でめっき製品を使用する場合、その使用環境を参考表1のとおり区分し、記号で示す。

表1—めっきの等級及びめっきの最小厚さ（抜粋）

μm

等級	めっきの最小厚さ	参考
		ISOのサービス コンディションナンバー
2級	5	1
3級	8	2

11. めっきの呼び方

めっきの呼び方は、JIS H 0404による。

例1. 鋼素地上、電気亜鉛めっき20μm

Ep—Fe/Zn 20

めっきの最小厚さ（20μm）を表す記号
めっきの種類（亜鉛めっき）を表す記号
素地の種類（鋼素地）を表す記号
電気めっきを表す記号

例2. 鋼素地上、電気亜鉛めっき3級

Ep—Fe/Zn [3]

めっきの等級（3級）を表す記号
めっきの種類（亜鉛めっき）を表す記号
素地の種類（鋼素地）を表す記号
電気めっきを表す記号

● JIS H 8641 2021（抜粋） 溶融亜鉛めっき

1. 適用範囲

この規格は、鋼材、鋼材加工品、鍛鍛鋼品及び鋳鉄品（以下、素材という。）に防食の目的で施す溶融亜鉛めっき（以下、めっきという。）の有効面の品質について規定する。ただし、連続的にめっきした溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛めっき鉄線及び亜鉛めっき鋼線並びにめっき後の後処理及び上塗装は、除く。

4. 種類

めっきの種類は、膜厚によって7種類に区分し、種類の記号は、表1による。

表1—種類の記号（抜粋）

種類の記号	適用例 ^{a)} （参考）
HDZT63	厚さ3 mm以上の素材

注a) 適用例の欄に示す厚さ及び直径は、公称寸法による。

7. 品質

7.3 膜厚

めっきは、8.2によって試験を行い、その膜厚は、表2による。ただし、有効面の形状によって8.2による試験が困難な場合は、8.3によって試験を行う。この場合、試験片は、注文者から提供を受ける。提供を受ける試験片は、JIS H 0401の箇条6（付着量試験）によって採取する。

表2—種類の記号及び膜厚（抜粋）

μm

種類の記号	膜厚
HDZT63	63以上

営業品目

スパンドレル
アルミ屋内用吸音機能付仕上材
内外装ルーバー
アルミ笠木
エキスパンションジョイントカバー
カーテン・ブラインドボックス
アルミひさし
点検口
特殊折り曲げ加工オーダー製品



理研軽金属工業株式会社

本社・工場 静岡市駿河区曲金3丁目2番1号 〒422-8530 TEL(054)281-1111(代)
FAX(054)280-0011

■製品に関するお問い合わせ・カタログ請求は、最寄りの営業所へお願いします。

東京営業所 東京都港区新橋1丁目1-13 アーバンネット内幸町ビル 〒105-8681 TEL(03)6810-7390(代)
FAX(03)6810-7392
大阪営業所 大阪市北区豊崎2丁目7-5 新御堂豊崎ビル2F 〒531-0072 TEL(06)6485-3310(代)
FAX(06)6485-3315
名古屋営業所 名古屋市中村区椿町15-21 明治安田生命名古屋西口ビル3F 〒453-0015 TEL(052)452-7346(代)
FAX(052)459-1033
札幌営業所 札幌市北区北七条西4丁目17-1 KDX札幌北口ビル7F 〒060-0807 TEL(011)709-9261
FAX(011)708-0548
仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡3丁目4-18 オークツリー榴岡6F 〒983-0852 TEL(022)291-7776
FAX(022)792-8010
北関東営業所 さいたま市大宮区桜木町1丁目393-1 高藤ビル4F 〒330-0854 TEL(048)642-6011
FAX(048)642-6012
静岡営業所 静岡市駿河区曲金3丁目2番1号 〒422-8530 TEL(054)281-1920
FAX(054)281-3439
広島営業所 広島市中区白島北町1-50 広栄ビル2F 〒730-0001 TEL(082)227-0511
FAX(082)227-0070
福岡営業所 福岡市博多区博多駅南4丁目2-10 南近代ビル5F 〒812-0016 TEL(092)434-5088
FAX(092)434-5089

内装東京 東京都港区新橋1丁目1-13 アーバンネット内幸町ビル 〒105-8681 TEL(03)6810-7393(代)
FAX(03)6810-7391
内装大阪 大阪市北区豊崎2丁目7-5 新御堂豊崎ビル2F 〒531-0072 TEL(06)6485-3310(代)
FAX(06)6485-3315

<https://www.rikenkeikinzoku.co.jp>



CHT2601SK26012500

取扱店

予告なく仕様変更する場合がありますので、御了承ください。
RIKEN、エレカラー、アイフィット、およびラコムハッチは理研軽金属工業株式会社の日本国内における登録商標です。
本カタログに掲載の写真、画像データの複製・転用・転載・二次的使用、その他これらに類する全ての行為をお断りします。

